



## 今週のPOINT

### 国内株式市場

衆院解散やIMF経済見通しを受けた海外投資家の一段の資金流入にも期待

### 今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

西日本フィナンシャルHD【プライム 7189】ほか

### テーマ別分析

コンテンツ産業に向かう市場の視線

### 話題のレポート

「利回りの逆転」と今後の銘柄物色

### スクリーニング分析

業績進捗率の高い株価出遅れ銘柄

10-12月期決算発表の本格化が接近

|   |          |                 |                             |    |
|---|----------|-----------------|-----------------------------|----|
| 1 | 今週の市場見通し | 国内株式市場          | マーケット概観                     | 3  |
|   |          |                 | 新興市場                        | 4  |
|   |          | 米国株式市場          |                             | 5  |
|   |          | 為替市場            | 米ドル/円予想レンジ                  | 6  |
|   |          | 債券市場            | 債券先物・長期国債利回り予想レンジ           | 6  |
|   |          |                 |                             |    |
| 2 | マーケットを読む | 今週のポイント         |                             | 7  |
|   |          | 日経平均株価          |                             | 8  |
| 3 | 今週の分析銘柄  | FISCO Selection | ユカリア 〈286A〉 グロース            | 9  |
|   |          |                 | 伊藤ハム米久 HD 〈2296〉 プライム       | 10 |
|   |          |                 | セリア 〈2782〉 スタンダード           | 11 |
|   |          |                 | Appier Group 〈4180〉 プライム    | 12 |
|   |          |                 | ANYCOLOR 〈5032〉 プライム        | 13 |
|   |          |                 | ツガミ 〈6101〉 プライム             | 14 |
|   |          |                 | JRC 〈6224〉 グロース             | 15 |
|   |          |                 | 西日本フィナンシャル HD 〈7189〉 プライム   | 16 |
|   |          |                 |                             |    |
|   |          | 読者の気になる銘柄       | SCREEN ホールディングス 〈7735〉 プライム | 17 |
|   |          |                 | 良品計画 〈7453〉 プライム            | 17 |
|   |          |                 |                             |    |
|   |          | テクニカル妙味銘柄       | SUBARU 〈7270〉 東証プライム        | 18 |
|   |          |                 | SBI ホールディングス 〈8473〉 プライム    | 18 |
|   |          |                 |                             |    |
| 4 | カテゴリー考察  | テーマ別分析          |                             | 19 |
|   |          | スクリーニング分析       |                             | 20 |
|   |          | 先週の話題レポート       |                             | 21 |
|   |          | 信用需給動向          |                             | 22 |
|   |          |                 |                             |    |
| 5 | 連載コラム    |                 |                             | 23 |

## 衆院解散や IMF 経済見通しを受けた海外投資家の一段の資金流入にも期待

### ■衆院解散織り込み、高市政策期待があらためて高まる形に

先週の日経平均は前週末比 1996.28 円高 (+3.8%) の 53936.17 円で取引を終了した。高市首相が衆院解散の検討に入ったと報じられて総選挙の実施を織り込みに行く動きが強まり、高市政権の政策期待があらためて高まる展開になった。週初から、25 年 11 月 4 日の取引時間中高値を上回る水準でのスタートとなり、その後も上値を伸ばす動きとなっている。

週前半にかけては、為替相場の円安進行も支援材料となり、14 日には上値を 54487.32 円まで伸ばした。週後半にかけては、短期的な過熱警戒感が強まる中、米国のイラン攻撃観測など地政学リスクの高まりもあって伸び悩む動きになったが、下値の堅さは確認される状況となっている。注目された台湾 TSMC の決算、並びに設備投資計画が市場予想を上回ったことなども下支え材料につながったとみられる。

1 月第 1 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を 1 兆 2247 億円買い越した一方、先物は 2319 億円売り越し、合計 9929 億円の買い越しとなった。2 週ぶりの買い越しとなっている。個人投資家は現物を 5428 億円売り越し、2 週ぶりの売り越しとなった。

### ■日銀金融政策決定会合や衆院解散が注目イベント

先週末の米国株式市場は反落。ダウ平均は前日比 83.11 ドル安の 49359.33 ドル、ナスダックは同 14.63 ポイント安の 23515.39 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値比 340 円安の 53720 円。半導体関連株の上昇が継続したものの、トランプ大統領が次期連邦準備制度理事会 (FRB) 議長候補として有力視されていた国家経済会議 (NEC) のハセット委員長の指名に難色を示したと伝わり、早期の利下げ期待後退から伸び悩む展開となっている。

今週は日銀金融政策決定会合、並びに衆院解散が注目イベントとなる。日銀会合においては、政策金利の据え置きはほぼ確実視されており、植田総裁の会見や展望レポートなどが注目材料。総裁会見ではタカ派姿勢が強まるかが焦点となりそうだが、中立金利の更新値公開などにはハードルも高いと考えられ、サプライズの乏しいものとなる可能性が高い。展望レポートも、経済見通しは幾分引き上げられる可能性があるものの、27 年度など中期のインフレ見通しは据え置かれよう。利上げ回数見通しの引き上げが想定されるような会見内容とならない限り、決定会合や総裁会見の通過後に為替市場では一段の円安が進行する公算。その後の為替介入の有無が注目されてきそう。

高市首相は 19 日に記者会見を予定、国民に解散についての考えを説明するとみられ、早期解散に対する否定的な声の沈静

化につながる可能性がある。23 日に召集される通常国会冒頭での衆院解散は既定路線となり、先週の株式市場でこうした方向性は十分に織り込みが進んでいるとはいえ、解散決定後は様々なメディアにおいて各党の政策論争が活発化するため、一段の政策期待が高まることにつながる見通し。なお、選挙期間に向けて中国の対日圧力が高まる余地などには警戒もしたい。

### ■IMF の世界経済見通しなども期待材料に

米国市場は底堅い動きを続けているが、FANG+などここまでの株高をけん引してきた巨大テクノロジー企業の株価は全般小休止する状況となっている。現在本格化しつつある 10-12 月期の決算発表を受けて、見直しの動きが再度強まっていくのが注目されることになる。この観点で言うと、今週はネットフリックスの決算などが関心を集めそう。米国企業決算では他にもインテルなどの発表が予定されているが、半導体関連に関しては TSMC の決算内容などからも、総じてポジティブな見方につながっていくものと考えたい。なお、再度の政府機関閉鎖の可能性も残される状況下、米国の予算審議の行方などにも関心が向かう。

国内では 10-12 月期の決算発表は来週から本格化するが、輸出企業を中心に、円安進行に伴う業績上振れへの期待感などは高まりやすいといえよう。ほか、海外投資家のグローバル投資動向に影響を及ぼすとされる IMF の世界経済見通しが公表される。日本の成長率見通し引き上げが予想される中、その後の海外投資家の資金流入に対する期待が盛り上がりそう。

### ■日銀会合や衆院解散が注目イベントに

今週、国内では、19 日に 11 月機械受注、11 月第 3 次産業活動指数、22 日に 12 月貿易統計、23 日に 12 月消費者物価指数、1 月 S&P グローバル製造業 PMI、12 月全国百貨店売上高などが公表される。22-23 日には日銀金融政策決定会合が開催され、23 日には植田総裁の会見、展望レポートの公表などが予定されている。なお、23 日には通常国会が召集され、衆院の解散が想定されている。

海外では、19 日に中・10-12 月期 GDP、12 月小売売上高、12 月鉱工業生産、12 月都市部固定資産投資、IMF 世界経済見通し、20 日に独・1 月 ZEW 景況感指数、21 日に英・12 月消費者物価指数、米・12 月中古住宅販売成約指数、22 日に米・7-9 月期 GDP (確報値)、10・11 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、23 日に欧・1 月ユーロ圏製造業・サービス業 PMI、米・1 月 S&P グローバル製造業・サービス業 PMI などが発表予定。なお、19 日はキング牧師生誕記念日のため米国市場は休場となる。

## 出遅れ感強く押し目買い意欲は強い

### ■政策関連銘柄への物色意欲が強くなりそう

今週の新興市場は、19日に高市首相が衆院の解散について国民に説明を予定しており、改めて高市政権の積極財政が実現しやすくなるとの期待から、政策に関連する銘柄への物色意欲が強くなりそうだ。グロース250指数は2週連続で3%を超える上昇となり、昨年10月下旬以来の水準を回復したが、昨年8月高値からは依然として8%超下落しているため出遅れ感は強いだろう。利益確定の売りも入りやすいだろうが、政策期待が高まる中、押し目待ち狙いの買い意欲は強そうだ。強い上昇が目立つレアアース関連についてはバブル感を指摘する声も聞かれるが、安全保障の観点からブルーイノベーション<5597>などドローン関連の一角は引き続き注目されそう。

### ■宇宙ビジネス関連銘柄に注目

日本とイタリア両政府が宇宙開発の技術協力を進めるため協議の枠組み「宇宙協議」を新設する。前週の上昇率が20%を超えたアストロスケールホールディングス<186A>のほか、Synspective<290A>、アクセルスペースホールディングス<402A>、QPSホールディングス<464A>、ispace<9348>、INCLUSIVE Holdings<7078>といった宇宙ビジネスに関連した銘柄への物色意欲は強そうだ。そのほか、今週は19日にGRCS<9250>、21日に令和アカウンティング・ホールディングス<296A>の決算発表が予定されている。

今週IPOは予定されていない。1月はIPOの空白期間であり、2026年最初のIPOは、2月13日に東証スタンダード市場への上場を予定しているTOボックス<500A>となる。

東証グロース市場 250 指数



ブルーイノベーション<5597>



アストロスケールホールディングス<186A>



## 本格化する決算発表に関心も長期金利の上昇などは警戒視/米国株式相場 今週の見通し

## ■先週の動き

先週の米国株は下落。週間ベースの騰落率は、NY ダウが-0.29%、ナスダックが-0.66%、S&P500 が-0.38%。週初は、司法当局がパウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長に対する刑事捜査を開始と伝わり、FRB の独立性への懸念から下落してスタートも、ハイテク株高が支えとなって下げ渋る展開に。ただ、週央にかけては、トランプ大統領が対イラン軍事行動を警告、カタールの空軍基地からの退去勧告もあって、地政学リスクが高まる状況になった。週後半にかけては、過度な地政学リスクの後退に加えて、台湾 TSMC の好決算発表を受けて半導体関連株が上昇したことで下げ渋る場面も見られた。ただ、週末には、トランプ大統領が次期 FRB 議長候補として有力視されていた国家経済会議（NEC）のハセット委員長長の指名に難色を示したと伝わり、早期の利下げ期待後退から戻りが抑えられた。

個別では、ウォルマートは、ナスダックが同社株を 100 種指数に組み入れると発表したことや、アルファベットと協力して顧客が「Gemini ジェミニ」アプリ上で買い物が可能になるサービスを発表したことなどで買われた。アルファベットは、アップルが音声アシスタント「Siri シリ」の最新版に「ジェミニ」の起用を検討しているとの報道も上昇材料となった。ボーイングは、25 年度売上がエアバスを 18 年以降初めて上回ったことが好感された。モデルナは、インフルエンザと新型コロナウイルス治療の混合ワクチンの国内、欧州での販売スケジュールを示し買われた。ゴールドマンサックス、モルガン・スタンレーはそれぞれ、第 4 四半期の好決算が評価された。マイクロンは取締役による株式購入が明らかになり上昇。電気通信会社の AST スペースモバイルは、ミサイル防衛局「拡張可能国土革新企業多層防衛」契約企業に選定され大幅高となった。

一方、ビザやマスターカードは、トランプ大統領が 1 年間、金利上限を 10% に設定する要請をしたため下落。デルタは第 4 四半期決算で 1 株利益が予想を上回ったが、地政学的リスクなどによる低調な通期見通しが嫌気されて売られた。ユナイテッドやアメリカンなども、原油高によるコスト上昇が業績の足かせになるとの懸念にそれぞれ下落。JP モルガンは第 4 半期決算で投資銀行部門が弱く、1 株当たり利益が予想を下回り軟調。カーニバル、エクスペディア、エアビーアンドビーなど旅行関連株は、国務省が 200 諸国からの旅券ビザ承認プロセスを一時停止したことが売上減につながるとしてそれぞれ売られた。

## ■今週の見通し

トランプ大統領が次期 FRB 議長にハセット氏を指名しない可能性を示唆、候補者のなかでは最も積極的に利下げを進めるとみられていただけに早期の利下げ期待が後退する状況に。10 年債利回りは 4.2% 台にまで上昇、昨年 9 月以来の高水準となってきている。相互関税に対する最高裁の合憲判断も先送りされているが、一段の長期金利上昇につながるリスク要因といえよう。ハイテク株の上値追いを抑制させていく可能性が残る。また、26 年度予算成立に向けては依然として調整が困難とみられる項目も残っており、再度の政府機関閉鎖の可能性なども金融市場の不透明要因と言える。

米国株式市場は底堅い動きを続けているが、FANG+ などこままでの株高をけん引してきた巨大テクノロジー企業の株価は全般小休止する状況となっている。現在本格化しつつある 10-12 月期の決算発表を受けて、見直しの動きが再度強まっていくのかが今後の注目材料となってこよう。この観点で言うと、今週はネットフリックスの決算などが関心を集めそう。ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー買収の行方なども不透明感につながり、12 月以降株価の下落ピッチは速まっている。高バリュエーションが許容されるような決算内容となるか注目へ。一方、半導体関連株に関しては、TSMC の決算内容などからも、総じてポジティブな見方につながっていくものと考えたい。今週はインテルの決算発表が予定されている。なお、米国では個人消費支出（PCE）デフレーターなどのインフレ指標も発表されるが、来週に控える連邦公開市場委員会（FOMC）には影響を与えないとみられ、注目度はやや乏しくなりそうだ。

経済指標は、21 日に 12 月中古住宅販売成約指数、22 日に 7-9 月期 GDP（確報値）、10・11 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、23 日に 1 月 S&P グローバル製造業・サービス業 PMI などが発表予定。なお、19 日はキング牧師生誕記念日のため休場となる。

決算発表は、20 日に DR ホートン、スリーエム、ユナイテッド・エアラインズ、US バンコプ、ネットフリックス、21 日にハリバートン、J&J、キンダー・モルガン、TE コネクティビティ、トラベラーズ、チャールズ・シュワブ、22 日にフリーポートマクモラン、ゼネラル・エレクトリック、インテル、インテューイティブ・サージカル、アルコア、P&G、23 日にシュルンベルジェなどが予定されている。



## 為替市場

米ドル・円 予想レンジ

156.50 円 ~ 159.50 円

今週の米ドル・円は伸び悩みか。高い支持率を背景に高市首相は通常国会を召集する1月23日にも衆院を解散する意向を関係者に伝えた。衆院選での勝利は保証されていないが、与党勝利による積極財政への期待が持続しており、米ドル買い・円売りが継続する可能性がある。日本の財政悪化を不安視している海外勢の円売りも予想される。日本銀行が22-23日開催の金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決める可能性が高いことも米ドル買い材料となりそうだ。

ただ、過度な円安に対して日本政府は一段と懸念を強めており、1ドル=160円近辺で米ドル売り・円買いの為替介入が実施される可能性がある。大規模な介入となる可能性もあるため、1ドル=159円超の水準ではリスク選好的な米ドル買い・円売りは抑制されるとの見方も出ている。なお、次期米連邦準備制度理事会（FRB）議長の有力候補であるハセット国家経済会議（NEC）委員長は現職にとどまる見通しとなったが、トランプ米大統領はFRB議長の後任人事で、金融緩和に前向きな候補者を選定する可能性が高い。今月開催の連邦公開市場委員会（FOMC）の会合では政策維持の見通したが、米国金利の先安観は後退していないため、ドルは積極的

## 債券市場

## ■先週の動き

先週（1月13日-16日）の債券市場で長期債利回りは上昇。解散総選挙での与党勝利と積極財政観測で株高・円安が進んだことが要因。日本銀行による早期追加利上げの思惑が消えていないことや、米長期金利の高止まりも意識され、長期債利回りは週末に2.2%に接近した。

10年債利回りは上昇。2.158%近辺で13日の取引を開始し、同日に2.137%近辺まで低下したが、為替相場の円安進行や積極財政観測を背景に売りが強まり、16日の取引で2.191%近辺まで上昇し、2.190%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物3月限は伸び悩み。131円81銭で取引を開始し、同日に132円18銭まで買われたが、為替相場の円安進行を意識して戻り売りが強まり、14日にかけて131円72銭まで反落した。ただ、過度な円安を懸念して日本政府による円買い介入（為替介入）が行われる可能性が高まったことを受け、15日の取引で債券先物を買戻す動きが観測された。132円28銭まで反発したが、日本の財政悪化に対する懸念が消えていないことから、債券先物の上昇は一時的だった。16日の取引で131円73銭まで反落し、131円91銭でこの週の取引を終えた。

## 【日本銀行金融政策決定会合】（22-23日開催）

日銀は22-23日に金融政策決定会合を開催し、現行の金融政策維持を決定する見通し。次の利上げは6月以降とみられ、早期の追加利上げに消極姿勢なら円売りが強まりそうだ。

## 【米・1月製造業・サービス業PMI】（23日発表予定）

23日発表の米1月PMI（製造業とサービス業）では足下の景況感が注目される。前回実績を上回る内容なら、利下げ観測後退でドル買い要因に。

債券先物予想レンジ

131.40 円 ~ 132.20 円

長期国債利回り予想レンジ

2.160 % ~ 2.250 %

## ■今週の見通し

今週（1月19日-23日）の債券市場では、長期金利の上昇基調が続く可能性がある。22-23日に開かれる日本銀行金融政策決定会合では政策金利の据え置きが決まる公算だが、衆院解散・総選挙で自民党の議席数が増えて高市政権の積極財政路線が強まり、財政が悪化するとの懸念から、長期債と超長期債を中心に金利上昇圧力が強まりそうだ。1月20日に行われる20年国債の入札状況が注目される。国内勢からの一定規模の需要は見込まれるが、財政悪化の懸念が消えていないため、好調な入札結果となる見込みは薄い。最低落札価格が事前予想を下回った場合、10年国債利回りの上昇を促す可能性がありそうだ。

債券先物3月限は伸び悩み可能性がある。衆院解散・総選挙で自民党の議席数が増えて高市政権の積極財政路線が強まるとの思惑が残っているため、債券先物の大幅反発は期待できない。米長期金利が低下した場合、調整的な買いが入る可能性はあるものの、20日に行われる20年国債入札がやや低調な結果となった場合、債券先物は131円台半ば近辺まで下落する可能性がある。

## 衆院解散を控えて政策期待が優勢の展開続く公算

先週の日経平均は続伸。前週末に高市首相が衆院解散の検討に入ったと報じられ、その後は解散総選挙の実施、並びに、高市政権の政策期待の高まりなどが織り込まれる動きになった。週初から最高値を更新する展開となり、その後も上値を伸ばしていった。中国政府がレアアース関連製品の対日輸出について、民生用も制限していることが明らかになったと伝わったことで、引き続きレアアース関連銘柄への物色が活発化した。関連銘柄では、第一稀元素、東洋エンジ、富士ダイス、ユニチカ、双日などの上昇が目立った。ほか、TSMCの好決算発表も加わり、ローツェ、TOWA、レーザーテック、イビデン、キオクシア、日東紡など半導体関連も総じて上昇。

個別では、週前半にピークを迎えた9-11月期決算が主な手掛かり材料となった。注目された安川電機は、収益水準下振れをマイナス視する動きが先行したが、その後は地合いの好転に切り返した。決算がポジティブ視されたのは、乃村工芸社、コジマ、三光合成、ブックオフ、スターマイカ、ベクトル、ヨシムラフード、Sansan、良品計画、サイゼリヤ、マナーフワード、日本毛織など。逆に決算発表後売りが先行したのは、コシダカHD、ジンズHD、竹内製作所、サカタのタネ、PR TIMES、ディップ、SHIFT、エスプールなど。ほか、銀相場の上昇を手掛かりに東邦亜鉛が連日の急伸。コプロはM&Aが評価材料となる。三越伊勢丹は1月半ばまでの販売動向を好感。半面、マツキョココカラは12月の月次動向が弱材料視される。

今週の株式市場は、週末の衆院解散を控えて、引き続き政策期待の高まりが支援材料になっていきそう。政策期待のテーマ銘柄や半導体関連株が引き続き上昇相場を牽引しよう。来週には10-12月期の決算発表が本格化していくが、TSMCの好決算や高水準の設備投資計画を受けて、半導体関連株には先行き期待が高まりやすい局面と考える。また、週初にはIMFの経済見通しが発表され、日本の景気見通し上方修正が想定されることから、海外投資家の資金流入拡大にも期待が持てよう。ほか、週末には日銀金融政策決定会合が開催される。サプライズは限定的とみられるが、その場合は円安の進行が想定されるため、輸出関連株にとつての短期的な上昇材料となりそう。なお、先週末にはレアアース関連が利食い売りに一斉安、過度な上値追いつきに対して慎重な見方も増えようが、短期的にはリバウンドを見据えた押し目買いの活発化が見込まれよう。

リスク要因としては、米国の長期金利上昇となるだろう。FRBの早期利下げ期待後退に伴って、週末にかけては昨年9月以来の水準にまで上昇している。AI関連など米グロース株の上値を抑える要因につながっていくとの懸念は残る。相互関税の最高裁判決を控えていること、再度の政府閉鎖に陥る可能性が残っていることなども不透明要因といえよう。また、米国市場では、スリーエム、ネットフリックス、ユナイテッドエア、J&J、P&G、インテルなど、国内関連企業に影響を及ぼす銘柄の決算発表も予定されている。

### 先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

| 上昇率上位銘柄 |              |          |        | 下落率上位銘柄 |                |         |        | 業種別騰落率   |        |
|---------|--------------|----------|--------|---------|----------------|---------|--------|----------|--------|
| コード     | 銘柄           | 終値（円）    | 騰落率（％） | コード     | 銘柄             | 終値（円）   | 騰落率（％） | 上位セクター   | 騰落率（％） |
| 5707    | 東邦亜鉛         | 2,187.0  | 106.52 | 3349    | コスモス薬品         | 6,544.0 | -14.37 | 銀行業      | 9.63   |
| 4082    | 第一稀元素化学工業    | 3,140.0  | 81.50  | 2726    | バルグループホールディングス | 1,720.0 | -13.48 | 非鉄金属     | 7.69   |
| 6330    | 東洋エンジニアリング   | 6,700.0  | 43.62  | 3697    | S H I F T      | 836.2   | -12.45 | 機械       | 7.69   |
| 6167    | 富士ダイス        | 1,194.0  | 25.95  | 2791    | 大黒天物産          | 5,080.0 | -11.96 | 卸売業      | 7.09   |
| 6323    | ローツェ         | 3,178.0  | 25.44  | 2157    | コシダカホールディングス   | 1,138.0 | -9.25  | 輸送用機器    | 6.70   |
| 6254    | 野村マイクロ・サイエンス | 3,685.0  | 21.82  | 3546    | アレナザホールディングス   | 1,164.0 | -8.49  | ガラス・土石製品 | 6.39   |
| 6407    | CKD          | 4,080.0  | 21.79  | 4413    | ボードルア          | 2,129.0 | -8.43  | 証券業      | 5.64   |
| 6266    | タツモ          | 2,646.0  | 21.77  | 3661    | エムアップホールディングス  | 846.0   | -8.34  | 下位セクター   | 騰落率（％） |
| 6315    | TOWA         | 3,050.0  | 21.37  | 3922    | P R T I M E S  | 2,720.0 | -7.95  | 海運業      | -2.88  |
| 6920    | レーザーテック      | 36,590.0 | 20.44  | 4324    | 電通グループ         | 3,198.0 | -7.81  | 医薬品      | -1.83  |
| 5262    | 日本ヒューム       | 1,726.0  | 20.11  | 3038    | 神戸物産           | 3,561.0 | -7.65  | 情報・通信業   | -1.74  |
| 5016    | J X 金属       | 2,609.5  | 19.21  | 4784    | GMOインターネット     | 858.0   | -7.54  | 陸運業      | -1.33  |
| 6368    | オルガノ         | 16,530.0 | 18.54  | 3678    | メディアドゥ         | 1,669.0 | -7.48  | 空運業      | -1.20  |
| 3103    | ユニチカ         | 391.0    | 18.48  | 2471    | エスプール          | 259.0   | -7.17  | 小売業      | -1.03  |
| 1813    | 不動テトラ        | 3,245.0  | 18.30  | 4565    | ネクセラファーマ       | 809.0   | -7.01  | サービス業    | -0.53  |

## 高値もみ合い、短期調整圧力も 13 週線比で上値余地

### ■短期的なスピード調整が先行しやすい地合い

先週（1 月 13-16 日）の日経平均は 2 週連続で上昇。週間で 1996.28 円高（前週 1600.41 円）と連騰して史上初の 54000 円台に乗せた。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は 1 月第 1 週（1 月 5 日～1 月 9 日）、買い越しを継続し（7898 億円、前週は 6108 億円買い越し）、現物も買い越しを継続した（12128 億円、前週は 3932 億円買い越し）。

先週の日経平均は高値追いが続き、14 日には 54487.32 円まで急伸。その後は週末にかけてやや緩んだ。この間、株価下方を走る 25 日線が上昇角度を増し、チャートは強気形状が鮮明になった。

今週は高値圏でのみみ合いが予想される。25 日や 26 週、52 週など主な移動平均線は株価下方で軒並み右肩上がりで推移し、中長期の上昇トレンド継続を強く示唆している。ただ、25 日線との上方乖離率は史上最高値となった 14 日ザラ場高値で 7.15%と、買われ過ぎラインの 5%を超過。前週終値も 25 日線比 5.48%高と 5%を上回っており、短期的なスピード調整が先行しやすい地合いとなりそう。

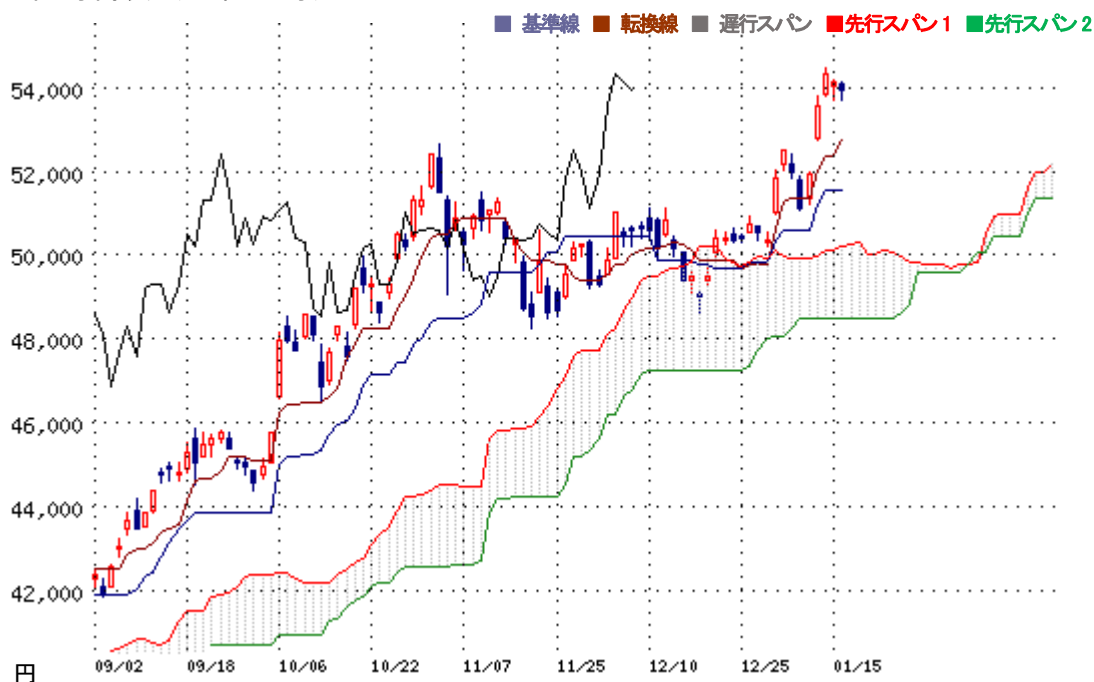
ただ、週足では今週高値が 13 週線比 7.48%高と過熱ラインの 10%に届いていないため、大勢では上値余地を残す形となっており、今週は短期調整の完了を待つ局面となろう。

ボリンジャーバンド（25 日ベース）では 14 日に +2 $\sigma$  を上放れた後、先週末終値は +2 $\sigma$  を下回り、+1 $\sigma$  側への調整を窺っている。先週末の 1 $\sigma$  の値幅は 1518.17 円（先々週末 840.88 円）と急拡大し、各バンド間隔が広がる「5 本線発散」の終盤入りを示唆している。今週はバンド間隔の縮小とともに、日々の値動きは落ち着く方向となりそう。

先週末終値が 25 日線を上回る銘柄は、プライム全銘柄で 85%（先々週末 9 日は 87%）、日経平均採用 225 銘柄で 179 銘柄（同 177 銘柄）といずれも高水準をキープ。相場全体では厚い含み益を抱える投資家による買い余力が大きい状態が続いている模様だ。

上値では、14 日高値 54487.32 円から節目の 55000 円が抵抗ゾーンと予想され、14 日高値突破が継続すればいったんボックス下値を探る流れとなろう。下値では一目均衡表の基準線（51565.55 円）から 25 日線（51132.27 円）までが調整の範囲内と位置付けられよう。

一目均衡表（日経平均）





## ユカリア〈286A〉グロース

## 上場後に M&amp;A・資本業務提携ペースが加速、DX 軸に医療現場の課題解決図る

## ■上場後にM&amp;A・資本業務提携が加速

病院の経営支援や介護施設の運営を手掛ける。医療現場の課題を抽出し、経営コンサルティングや DX ソリューションの提供を通じて改善を図っている。24 年 12 月に東証グロース市場へ上場後、買収・資本提携を積極化しており、上場後約 1 年で 13 社を実行(上場前は累計 7 社)とペースは加速化している。また、25 年 12 月には、富士通〈6702〉とヘルスケア事業領域での協業に関する覚書を締結。AI エージェントを活用した医療業務オペレーションの効率化など医療業務変革サービスの検討を進めている。

## ■カギとなるDX戦略

全国 7 割以上の病院が赤字経営に陥るとされる中、同社は抜本的な課題解決にはスケールを伴う DX が不可欠との認識を示している。富士通に加え、生成 AI ヘルスケアエージェント分野のグローバルリーダーである米 Hippocratic AI 社とも資本業務提携

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 900 円  |
| 目標株価    | 1000 円 |
| 業種      | サービス   |

を実施し、全国の病院へ提供を進めている点は注目される。複数の成長ドライバーが同時進行で立ち上がりつつあり、事業規模の拡大余地は大きい。株価は第3四半期決算発表後に一時調整したものの、足下では回復基調にある。まずは昨年 10 月以来となる 1000 円台回復が目先の焦点となろう。

## ★リスク要因

成長投資に伴う短期的な利益率低下など。

## 286A: 日足

まずは 75 日線を回復したいところ。



(百万円)

| 会計期       | 売上高    | 前期比   | 営業利益  | 経常利益  | 前期比    | 当期利益  | 1株益(円)    |
|-----------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-----------|
| 2021/12単  | 2,895  | 6.6%  | -     | 826   | 7.1%   | 564   | 7565.03   |
| 2022/12連  | 16,616 | -     | 865   | 784   | -      | 980   | 13120.00  |
| 2023/12連  | 18,054 | 8.7%  | 1,899 | 1,853 | 136.4% | 1,051 | 14,072.00 |
| 2024/12連  | 19,833 | 9.9%  | 2,292 | 2,801 | 51.2%  | 2,025 | 64.40     |
| 2025/12連予 | 23,721 | 19.6% | 2,925 | 2,678 | -4.4%  | 2,608 | 73.72     |

## 伊藤ハム米久ホールディングス〈2296〉プライム

### 食肉・加工食品の両輪で成長加速、配当利回り 5%超え

#### ■国内屈指の食品グループ

ハム・ソーセージや調理加工食品を扱う加工食品事業(前期売上構成比41%)と、牛・豚・鶏の生産から販売までを垂直統合で手掛ける食肉事業(同59%)の二本柱で構成。国内市場シェアでは、ハム・ソーセージで22%と1位。26年3月期上期業績は、売上高5423.62億円(前年同期比10.5%増)、営業利益131.50億円(同49.3%増)の増収大幅増益で着地した。食肉事業における海外事業の劇的な収益改善が寄与。通期計画は上方修正されており、売上高1兆500億円(前期比6.2%増)、営業利益270億円(同37.9%増)を見込む。

#### ■配当利回り5%超え

株価は好調に推移しており、17年高値を超えた。同社は35年度に経常利益 500 億円を目指す「長期経営戦略 2035」と、「中期経営計画2026」(26年度の経常利益目標は300億円)を策定。26

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 5910 円 |
| 目標株価    | 6200 円 |
| 業種      | 食料品    |

年度までは主にオーガニックグロースで基礎収益力の底上げをはかりつつ、成長投資を加速させることで国内バリューチェーン価値の最大化を図る。中計期間中は DOE3.0%以上かつ黒字配当を採用し、配当利回りは 5%超え。堅調な業績推移を横目に、目先 6200 円を目標ラインとする。

#### ★リスク要因

持続的なコスト高など。

#### 2296:日足

17 年の高値超え。



(百万円)

| 会計期      | 売上高       | 前期比  | 営業利益   | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|----------|-----------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2022/3連  | 854,374   | 1.4% | 24,611 | 28,596 | 5.9%   | 19,118 | 65.34  |
| 2023/3連  | 922,682   | 8.0% | 22,994 | 26,044 | -8.9%  | 16,975 | 58.81  |
| 2024/3連  | 955,580   | 3.6% | 22,336 | 26,036 | 0.0%   | 15,553 | 273.24 |
| 2025/3連  | 988,771   | 3.5% | 19,576 | 20,750 | -20.3% | 13,097 | 230.88 |
| 2026/3連予 | 1,050,000 | 6.2% | 27,000 | 28,000 | 34.9%  | 18,000 | 317.23 |

## セリア〈2782〉スタンダード

### 100 円均一を堅持して残存者利益獲得、24 年 8 月高値超えて新高値形成

#### ■100円（税抜）均一価格を堅持

100円ショップ大手。物価高や原価上昇が続く環境下で、競合各社が300円・500円帯商品を拡充するなか、同社は100円（税抜）均一価格をぶらさず、データ活用とシステム主導の経営によって収益性を維持している。26年3月期上期決算は、売上高1213.82億円（前年同期比4.7%増）、営業利益83.51億円（同9.2%増）で着地した。競争の影響は限定的で、既存店売上の底堅さが業績を支えたようだ。直近12月の月次動向も好調で、客数・客単価ともに前年を上回っている。通期では売上高2455.50億円（前期比3.9%増）、営業利益169.00億円（同0.4%増）を見込む。

#### ■PBR0.7倍かつ配当利回り3.7%

株価は昨年12月から右肩上がりで堅調に推移している。今後の売上成長率は全体で3%強、既存店で1~2%の成長を見込んでおり、急拡大よりも持続的成長を重視する姿勢がうかがえる。

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 3795 円 |
| 目標株価    | 4300 円 |
| 業種      | 小売     |

る。出店戦略では、年間120店出店・60店退店を想定し、ネットで純増60店程度を目指す。中長期的には6000店体制を視野に入れているが、地域特性や価格感応度を踏まえた慎重な展開を続ける方針。配当性向40%前後を目安にする中、中長期視点で堅調な評価余地があり、4300円到達に期待する。

#### ★リスク要因

新規出店の鈍化など。

#### 2782:日足

24 年 8 月高値を超えて新高値形成。



（百万円）

| 会計期      | 売上高     | 前期比  | 営業利益   | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|----------|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2022/3単  | 208,084 | 3.7% | 20,918 | 21,347 | 0.0%   | 14,301 | 188.73 |
| 2023/3単  | 212,359 | 2.1% | 15,445 | 15,617 | -26.8% | 10,254 | 136.29 |
| 2024/3単  | 223,202 | 5.1% | 15,121 | 15,315 | -1.9%  | 9,823  | 130.56 |
| 2025/3単  | 236,327 | 5.9% | 16,836 | 16,993 | 11.0%  | 11,218 | 149.09 |
| 2026/3単予 | 245,550 | 3.9% | 16,900 | 17,100 | 0.6%   | 11,400 | 169.94 |

## Appier Group 〈4180〉 プライム

## AI 活用のマーケティングソリューションを提供、世界 17 拠点で事業展開

## ■独自のAIモデルが強み

機械学習、ディープラーニング、生成 AI、独自のアルゴリズムを活用したマーケティングソリューションを提供する。ユーザー獲得、マーケティングやキャンペーン効果の最大化、高品質顧客プロフィール作成などを支援する。同社は CEO のチハン・ユー氏が 2012 年に台湾で創業した。10 年以上にわたり多種多様なデータを学習した独自の AI モデルが同社の強みの一つとなっている。また、同社は AI やビッグデータ分野で修士号または博士号を持つメンバーが 70%を占め、400 件以上の学术论文を有する世界トップレベルの R&D チームを誇る。サービスはグローバルに展開し、世界 17 拠点を持つ。

## ■第3四半期累計の営業利益は58.5%増

25 年 12 月期第 3 四半期累計の売上収益は 310.36 億円(前年同期比 26.3%増)、営業利益は 19.08 億円(同 58.5%増)。グロー

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 1142 円 |
| 目標株価    | 1745 円 |
| 業種      | 情報・通信  |

バル全地域での堅調な需要に支えられ、成長モメンタムを堅持している。26 年 12 月期通期売上収益は 454.67 億円(前期比 33.5%増)、営業利益は 40.51 億円(同約 2.0 倍)の見込み。株価は出遅れが目立つが業績は堅調だ。昨年 9 月の高値 1745 円を目標株価としたい。

## ★リスク要因

AI 人材の獲得難など。

4180: 日足

1000 円近辺が下値支持帯か。



(百万円)

| 会計期        | 売上高    | 前期比   | 営業利益   | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|------------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2021/12連I  | 12,661 | 41.1% | -1,117 | -1,170 | -      | -1,179 | -      |
| 2022/12連I  | 19,427 | 53.4% | 50     | 111    | -      | 21     | 0.21   |
| 2023/12連I  | 26,418 | 36.0% | 801    | 1,063  | 857.7% | 1,002  | 9.85   |
| 2024/12連I  | 34,057 | 28.9% | 1,981  | 2,062  | 94.0%  | 2,927  | 28.70  |
| 2025/12連I予 | 45,467 | 33.5% | 4,051  | 3,801  | 84.3%  | 3,576  | 35.00  |

## ANYCOLOR 〈5032〉 プライム

## IP 展開の多角化とグローバル加速で高成長を維持する VTuber 業界の旗手

## ■VTuber市場を牽引・海外進出などIP展開を加速

VTuber グループ「にじさんじ」を運営する業界のリーディングカンパニー。ライブストリーミングを中心に、グッズ販売(コマース)、イベント、プロモーション、海外展開(NIJISANJI EN)など多角的なビジネスモデルを構築している。VTuber の活動を支援する高度な技術基盤と、ファンの熱量を最大化する IP(知的財産)マネジメントに強みを持つ。また、国内で培ったノウハウを活かし、北米を中心としたグローバル市場への浸透や、新規メディア・プラットフォームの活用を通じて、既存のエンタメ領域を超えた新たなファン体験の創出を加速させている。

## ■直近業績は増収増益、通期上方修正も

26 年 4 月期上期業績は、売上高 263.26 億円(前年同期比 51.8%増)、営業利益 110.72 円(同 63.8%増)と着実に成長。12 月の決算発表では、コマースやライブイベントの好調と今後の大

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 4430 円 |
| 目標株価    | 5780 円 |
| 業種      | 情報・通信  |

型施策への期待から、通期予想を売上高 520 億~540 億円、営業利益 210 億~220 億円へ上方修正。配当予想の増額も発表されている。VTuber 数の拡大と ARPU(顧客平均単価)の上昇を軸にした成長戦略の信頼性は高く、市場コンセンサスや高い利益率(ROE30%超)を根拠に、目標株価を 5780 円とする。

## ★リスク要因

主要 VTuber の活動休止、海外市場での競争激化など。

5032: 日足

上方修正がどう評価されるか。



(百万円)

| 会計期      | 売上高    | 前期比   | 営業利益   | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|----------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2022/4単  | 14,164 | 85.5% | 4,191  | 4,149  | 185.9% | 2,793  | 93.28  |
| 2023/4単  | 25,341 | 78.9% | 9,410  | 9,448  | 127.7% | 6,698  | 221.57 |
| 2024/4単  | 31,995 | 26.3% | 12,361 | 12,341 | 30.6%  | 8,725  | 139.63 |
| 2025/4単  | 42,876 | 34.0% | 16,279 | 16,214 | 31.4%  | 11,510 | 188.57 |
| 2026/4単予 | 52,000 | 21.3% | 21,000 | 21,000 | 29.5%  | 14,570 | 238.41 |



## ツガミ〈6101〉プライム

### 自動旋盤が主力、上期収益は過去最高

#### ■精密加工技術が強み

工作機械メーカー。自動旋盤が売上収益(売上高)の84%を占め、研削盤やマシニングセンタ(数値制御装置(NC 装置)と自動工具交換装置(ATC)を備え複数の加工を自動で行う機械)なども手掛ける。主力製品のCNC精密自動旋盤は、直径1ミリの棒材から0.05ミリの微細なパーツを量産できる技術を持ち、この精密加工技術が同社の強みの一つとなっている。地域別売上収益は中国が75%を占め、日本は7%。業種別では自動車やIT向けが主力となっており、新製品開発では環境対応自動車向けやIT関連、医療機器、半導体検査機器関連向けなどに注力している(25年3月期)。

#### ■上期営業利益は53.4%増

26年3月期上期累計の売上収益は600.54億円(前年同期比20.6%増)、営業利益は152.08億円(同53.4%増)。各拠点で着

| 売買単位    | 100 株  |
|---------|--------|
| 1/16 終値 | 3225 円 |
| 目標株価    | 3500 円 |
| 業種      | 機械     |

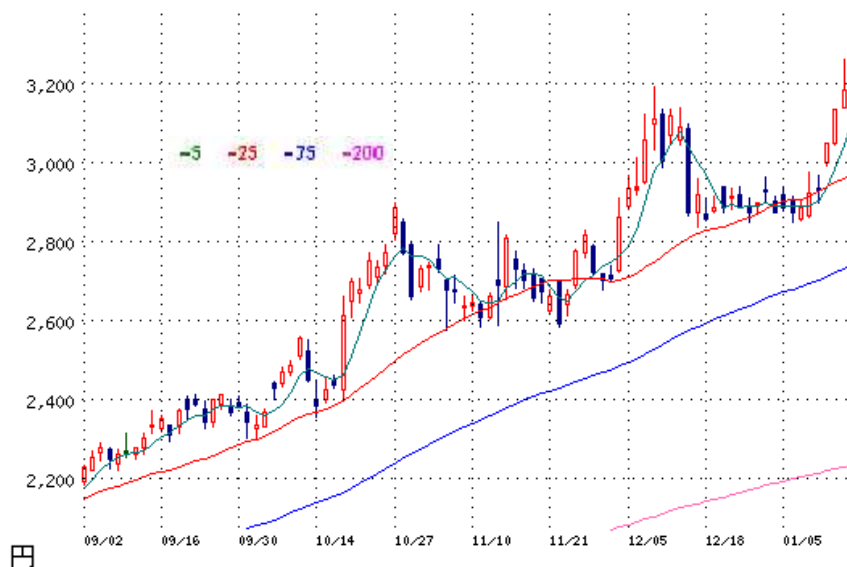
実に事業を推進し、過去最高の収益となった。26年3月期通期売上収益は1150億円(前期比7.1%増)、営業利益は270億円(同15.8%増)予想。第2四半期決算発表時に、売上収益を10%、営業利益を38%ほど前回予想からそれぞれ引き上げた。株価は堅調だ。切りの良いところで3500円を目標株価としたい。

#### ★リスク要因

日中関係悪化の長期化など。

#### 6101:日足

昨年4月以降は順調な上昇相場に。



(百万円)

| 会計期       | 売上高     | 前期比    | 営業利益   | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2022/3連I  | 93,174  | 51.1%  | 18,860 | 18,776 | 98.5%  | 9,486  | 191.99 |
| 2023/3連I  | 94,963  | 1.9%   | 16,758 | 16,467 | -12.3% | 7,695  | 159.39 |
| 2024/3連I  | 83,928  | -11.6% | 13,095 | 13,795 | -16.2% | 5,376  | 112.57 |
| 2025/3連I  | 107,411 | 28.0%  | 23,309 | 23,709 | 71.9%  | 10,901 | 231.55 |
| 2026/3連I予 | 115,000 | 7.1%   | 27,000 | -      | -      | 12,500 | 269.09 |

## JRC 〈6224〉 グロース

## 業績上方修正後の決算通過でも評価崩れず、再上昇余地探る

## ■国内コンベヤ市場でトップシェア

ニッチトップかつリカーリング性の高いコンベヤ事業を中核に、自社一貫の対応を強みとする環境プラント事業、製造業の現場ノウハウを活かしたロボット SI 事業の 3 事業を展開。近年は M&A も積極化しており、業容拡大が続いている。一貫して営業黒字を維持するなど、景気耐性の強いビジネスモデルが特徴。国内コンベヤ部品市場ではトップシェア(52%)を誇るほか、成長ドライバーであるロボット SI 事業では食品・医薬向けが全売上の約9割を占めている。

## ■決算発表後も評価崩れず

1月14日大引け後に26年2月期第3四半期決算を発表。コンベヤ事業・ロボット SI 事業が堅調で、売上高・営業利益ともに前年同期比を大きく伸長した。昨年12月18日に通期業績予想の上方修正および増配を発表した際に株価は先行して上昇していた

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 1432 円 |
| 目標株価    | 1700 円 |
| 業種      | 機械     |

ものの、決算通過後も12月高値圏を維持しており、業績評価は崩れていない。中期経営計画では28年2月期目標を売上高172億円(M&A 除く)としており、達成期待は今後も株価の下支え要因となろう。株価はまず、昨年10月16日の急落前の水準である1700円回復が意識される。

## ★リスク要因

売上計上の期ずれによる業績のブレなど。

## 6224: 日足

25日線が下値サポートに。75日線が再び上向けば、押し目買いの好機に。



(百万円)

| 会計期      | 売上高    | 前期比   | 営業利益  | 経常利益  | 前期比   | 当期利益  | 1株益(円)   |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 2022/2連  | 8,085  | -     | 856   | 844   | -     | 545   | 864.29   |
| 2023/2連  | 8,961  | 10.8% | 1,252 | 1,270 | 50.5% | 830   | 1,316.80 |
| 2024/2連  | 9,473  | 5.7%  | 1,270 | 1,273 | 0.2%  | 847   | 67.14    |
| 2025/2連  | 11,064 | 16.8% | 1,378 | 1,407 | 10.5% | 1,078 | 87.89    |
| 2026/2連予 | 13,450 | 21.6% | 1,830 | 1,815 | 29.0% | 1,220 | 95.75    |

## 西日本フィナンシャルホールディングス〈7189〉プライム

## 西日本シティ銀行や長崎銀行など傘下、地域中小企業に多様なソリューションを提供

## ■国内銀行拠点数は178店

西日本シティ銀行、長崎銀行、西日本シティ TT 証券などが傘下。16 年 10 月に発足した。本店は福岡市。九州トップクラスの ICT 企業であるシティアスコムや地銀系クレジットカード会社でトップクラスの取引基盤を持つ九州カードなどを子会社に持ち、また、九州首位のリース会社である九州リースサービスや DX 支援のイジゲングループが関連会社となっており、多様なソリューションを提供する地域金融グループへと進化している。国内銀行拠点数は 178 店。地域の中小企業との取引が多く、西日本シティ銀行の地域別貸出比率は九州が 86%、中小企業等貸出金比率は 78%となっている。

## ■上期経常利益は31.0%増

26 年 3 月期上期累計期間の経常収益(売上高)は 1102.36 億円(前年同期比 16.2%増)、経常利益は 309.09 億円(同 31.0%増)。

|         |        |
|---------|--------|
| 売買単位    | 100 株  |
| 1/16 終値 | 3710 円 |
| 目標株価    | 4000 円 |
| 業種      | 銀行     |

預貸金利息収支が拡大したほか、外貨調達利息の減少や預け金利息の増加が寄与した。26 年 3 月期通期経常利益は 550 億円(前期比 20.8%増)予想。預貸金利息収支の拡大等による資金利益の増加等を見込んでいる。株価は堅調に推移している。切りの良いところで 4000 円を目標株価としたい。

## ★リスク要因

九州経済の動向など。

7189: 日足

長期上昇相場形成中。



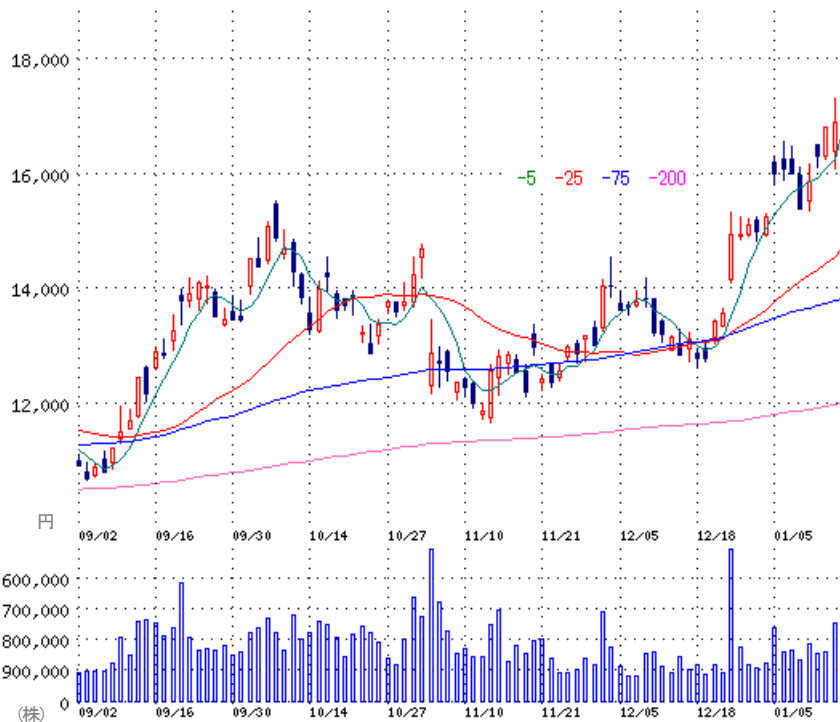
(百万円)

| 会計期      | 売上高     | 前期比   | 営業利益 | 経常利益   | 前期比    | 当期利益   | 1株益(円) |
|----------|---------|-------|------|--------|--------|--------|--------|
| 2022/3連  | 138,484 | 2.6%  | —    | 37,868 | 41.5%  | 24,236 | 164.31 |
| 2023/3連  | 160,448 | 15.9% | —    | 33,677 | -11.1% | 26,064 | 181.57 |
| 2024/3連  | 185,595 | 15.7% | —    | 35,609 | 5.7%   | 23,576 | 167.11 |
| 2025/3連  | 196,415 | 5.8%  | —    | 45,537 | 27.9%  | 30,982 | 221.37 |
| 2026/3連予 | —       | —     | —    | 55,000 | 20.8%  | 37,000 | 265.64 |

## SCREEN ホールディングス プライム&lt;7735&gt;/TSMC 好決算で半導体株には好業績期

先週は連日の上昇で週末にかけて一段高の展開となる。15 日に台湾 TSMC が第 4 四半期の決算を発表、純利益は前年同期比 35% 増の 5057 億台湾ドルと過去最高を記録。7 四半期連続で 2 ケタの利益成長となり、4800 億台湾ドルレベルであった市場予想も大幅に上回っている。また、新年度第 1 四半期の売上高は前年同期比で最大 40% 増に達する可能性があるとも表明。さらに、設備投資の拡大見通しも示しており、TSMC 向けウェイトが高いとされる同社をはじめ、国内半導体関連の買い材料になった。

今週はディスコ<6146>の決算発表が予定されるほか、来週に大手半導体銘柄の決算発表が本格化する。同社の決算発表も 1 月 30 日に予定。TSMC の決算を受けて各社ともに先行き見通しは楽観視しやすいものとみられる。とりわけ、半導体製造装置各社は決算発表に向けて期待感が先行しよう。



## 良品計画 プライム&lt;7453&gt;/想定以上の好決算発表も中国売上鈍化が懸念

先週後半にかけて大幅高。14 日に第 1 四半期の決算を発表、営業利益は 284 億円で前年同期比 29.3% 増となり、市場予想を 50 億円ほど上回る着地になった。据え置きの通期予想 790 億円、前期比 7.0% 増に対しても好調な進捗と捉えられる。国内での粗利益率の改善、海外の売上伸長などが大幅増益の要因。コストの期ずれはあったもようだが、為替相場からの押し下げ要因もカバーする形に。株価推移からも決算期待は高まっていなかったとみられ、ポジティブな反応が先行。

一方、同じく 14 日に発表している海外売上動向では、中国大陸の既存店売上高が前年同月比 0.5% 増に鈍化している。9 月から 11 月にかけては 2 ケタ増ペースが続いていたため、日中関係の悪化に伴う先行き懸念は強まる方向。過度な業績懸念は後退したと言え、一段の上値固めの動きは限定的となる可能性があるだろう。



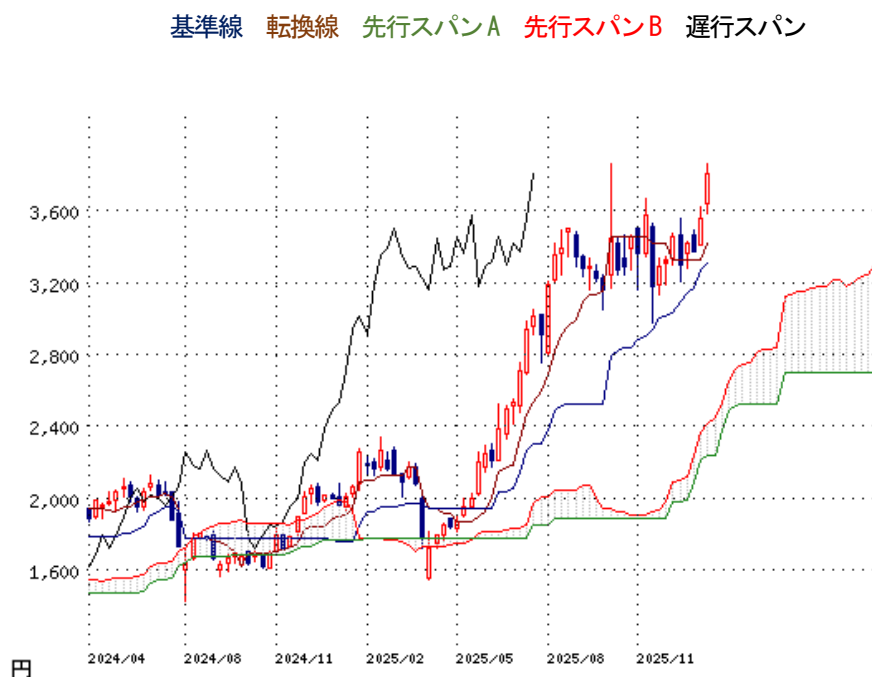
## SUBARU 東証プライム&lt;7270&gt;

日足ベースのローソク足。先週は1月14日に25日移動平均線を上放れ、翌15日には緩やかに上昇する25日移動平均線を5日線が上抜いて短期ゴールデンクロスが完成し、上昇局面入りを強く示唆。週末16日は5本連続陽線で強い買い圧力を窺わせた。14日高値から3円上にある上場来高値3642円（2025年12月16日）を超えれば目立った抵抗ラインはなく、上昇加速が期待できよう。



## SBIホールディングス 東証プライム&lt;8473&gt;

週足ベースの一目均衡表。三役好転下の強気形状が続く中、先週は2025年10月高値を4円上回る3866円まで買い進まれて上値拡張を開始。上向きの基準線が中長期ベースの上昇圧力の強さを窺わせるとともに、転換線が上昇を再開して短期スピード調整の終了を示唆した。遅行線の応答日株価との上方乖離が大きく、強気シグナルが鮮明なこともあり、節目の4000円を超えて上値を追う展開が予想される。





## テーマ別分析:コンテンツ産業に向かう市場の視線

### ■2026 年 IPO の初陣はコンテンツ関連

2026 年最初の新規株式公開 (IPO) として、コンテンツプロデュース事業を手掛ける TO ブックス<500A>の上場が発表された。年初は投資家の視線が慎重になりやすい時期だが、その初陣にコンテンツ関連が登場した点は、市場が収益構造の読みやすい IP (Intellectual Property、知的財産) ビジネスへ関心を移しつつあることを示唆しているともいえる。

日本政府もコンテンツ産業を成長分野の一つに位置付けており、2024 年に策定された「新たなクールジャパン戦略」では、アニメやマンガなどを含むソフトパワー関連産業の海外展開規模を 2033 年までに 50 兆円へ拡大する目標を掲げた。こうした流れを背景に、エンタメ業界では原作やキャラクターといった IP を起点に、映像・ゲーム・商品化へ展開するメディアミックス戦略が一般化しつつある。下表では、特に IP を自社で保有し、複数メディアでの展開を前提とした事業モデルを有する企業を中心に引き上げた。

### ■主な「コンテンツ」関連銘柄

| コード   | 銘柄略称       | 市場     | 1/16<br>株価<br>(円) | 概要  |
|-------|------------|--------|-------------------|---|
| 3659  | ネクソン       | プライム   | 4214              | 主要タイトル「メイプルストーリー」「アラド戦記」は20年以上親しまれているゲームIP。             |
| 3791  | IGポート      | スタンダード | 1376              | 2025年6月にサンリオ<8136>と資本業務提携。                              |
| 3932  | アカツキ       | プライム   | 2676              | ゲームやコミックなどのIPビジネスを中心に事業を展開。                             |
| 3981  | ビーグリー      | スタンダード | 1253              | 自社運営の「まんが王国」を起点にIP事業を展開。日本テレビHD<9404>と資本業務提携。           |
| 4751  | サイバーエージェント | プライム   | 1411.5            | 2024年にアニメ&IP事業本部設立。アニメを起点とした多角的な戦略を展開。                  |
| 6460  | セガサミーHD    | プライム   | 2411              | 「ソニック」「ペルソナ」「龍が如く」「北斗の拳」シリーズなど有力なIPを所持。                 |
| 6758  | ソニーグループ    | プライム   | 3852              | KADOKAWA<9468>とIP価値最大化に向け2024年に資本業務提携。                  |
| 7832  | バンダイナムコHD  | プライム   | 4172              | 「ウルトラマン」「それいけ!アンパンマン」など人気IPを多数所持。                       |
| 7867  | タカラトミー     | プライム   | 2876.5            | 玩具を起点としたIP事業を展開。「トミカ」「プラレール」「リカちゃん」など強力IP所持。            |
| 7974  | 任天堂        | プライム   | 10520             | 「マリオ」「ポケモン」など強力な人気グローバルIPを所持。IP戦略に注力。                   |
| 8136  | サンリオ       | プライム   | 4805              | 「ハローキティ」など人気IP所持。公式とファンをつなげる創作プラットフォーム「Charaforio」が話題に。 |
| 9468  | KADOKAWA   | プライム   | 3304              | 出版社として初めて映画産業に参入。メディアミックス戦略のパイオニア的存在。                   |
| 9602  | 東宝         | プライム   | 8013              | 2026年2月期より主要事業セグメントとして「IP・アニメ事業」を新設。                    |
| 9605  | 東映         | プライム   | 5600              | 2019年より映画と演劇のメディアミックスシリーズ「東映ムビ×ステ」をスタート。                |
| 1414A | オーバーラップHD  | グロース   | 1040              | 電子書籍を中心にライトノベルや漫画を出版。                                   |

出所: フィスコ作成

## 業績進捗率の高い株価出遅れ銘柄

### ■10-12 月期決算発表の本格化が接近

今週はディスコの決算発表が予定されているほか、来週には主力企業の10-12月期決算発表が本格化を迎える。業績上振れ期待の高い銘柄などに関心が集まりやすくなるだろう。上半期営業利益進捗率が60%を上回る銘柄の中で、前期・今期とも順調な収益成長が見込まれている銘柄に注目。その中で、前回決算発表前との比較で株価上昇率が限定的な、出遅れ感の強い銘柄をスクリーニングしている。

スクリーニング要件としては、①3月期本決算、②上半期営業利益進捗率が60%以上、③前期実績、今期見通しともに2ケタ営業増益、④10月17日終値比株価上昇率が10%未満、⑤東証上場銘柄。

### ■好業績期待の出遅れ銘柄

| コード  | 銘柄               | 市場     | 1/16株価<br>(円) | 時価総額<br>(億円) | 営業益進捗<br>率(%) | 株価騰落率<br>(%) | 予想<br>1株利益<br>(円) |
|------|------------------|--------|---------------|--------------|---------------|--------------|-------------------|
| 160A | アズパートナーズ         | スタンダード | 2,596.0       | 92.9         | 104.7         | -15.71       | 297.62            |
| 2767 | 円谷フィールズHD        | プライム   | 1,780.0       | 1164.6       | 75.5          | -20.50       | 205.69            |
| 3692 | FFRIセキュリティ       | グロース   | 9,810.0       | 803.4        | 60.0          | -8.83        | 90.49             |
| 3850 | NTTデータイントラマート    | スタンダード | 3,975.0       | 197.0        | 68.4          | 9.66         | 143.84            |
| 4240 | クラスターテクノロジー      | グロース   | 349.0         | 19.9         | 68.8          | 9.40         | 19.80             |
| 4301 | アミューズ            | プライム   | 2,125.0       | 395.8        | 115.2         | 9.88         | 172.50            |
| 4337 | ぴあ               | プライム   | 2,693.0       | 421.6        | 71.3          | -14.78       | 176.33            |
| 4838 | スペースシャワー-SKIYAKI | スタンダード | 776.0         | 132.2        | 83.7          | -13.87       | 58.36             |
| 4926 | シーボン             | スタンダード | 1,245.0       | 53.3         | 62.4          | 3.75         | 17.45             |
| 4951 | エステー             | プライム   | 1,549.0       | 356.3        | 73.6          | -1.34        | 76.66             |
| 5729 | 日本精鉱             | スタンダード | 13,090.0      | 341.1        | 90.6          | -9.72        | 1450.59           |
| 7222 | 日産車体             | スタンダード | 1,123.0       | 1521.1       | 80.4          | -0.88        | 32.48             |

(注) 株価騰落率は10月17日終値比

出所：フィスコアプリより作成

## 「利回りの逆転」と今後の銘柄物色

### ■金利上昇局面では GARP 戦略が有効か

足元で日本の 10 年国債利回りが TOPIX の今期予想配当利回りを上回り、「金利上昇局面」への転換を意識せざるを得ない環境に入っている。SMBC 日興証券では、この利回りの逆転を契機に、イールドスプレッドと主要ファクター（バリュー、グロース、クオリティ）の関係を定量的に検証。その結果、イールドスプレッド縮小局面（＝金利上昇局面）では、単純な高配当株の優位性は低下し、来期以降の収益成長を織り込んだ割安株が相対的に選好されやすいことが示唆されたという。特に、成長性と割安性を同時に評価する PEG レシオの有効性が高く、金利上昇局面では GARP 戦略（成長性を伴う割安株選別）が有効な銘柄物色の軸となり得るとしている。下表では長期 CAGR をもとに算出した PEG レシオから、割安性と成長性のある銘柄を抽出した結果をまとめている。

### 「割安性と成長性のある銘柄」(SMBC 日興証券)

| 銘柄コード | 企業名      | セクター  | 時価総額<br>(十億円) | PER<br>(来期)<br>(倍) | CAGR<br>(経常利益)<br>(5期先)<br>(%) | PEGレシオ<br>(倍) | 経常増益率<br>(来期)<br>(%) |
|-------|----------|-------|---------------|--------------------|--------------------------------|---------------|----------------------|
| 5110  | 住友ゴム工業   | ゴム製品  | 639           | 9.6                | 54.8                           | 0.18          | 34.8                 |
| 4887  | サワイ GHD  | 医薬品   | 273           | 13.8               | 63.1                           | 0.22          | 32.6                 |
| 2607  | 不二製油     | 食料品   | 325           | 13.1               | 57.3                           | 0.23          | 11.8                 |
| 5020  | ENEOS HD | 石油石炭  | 3,036         | 11.4               | 43.8                           | 0.26          | 54.8                 |
| 285A  | キオクシアHD  | 電気機器  | 6,147         | 9.5                | 33.8                           | 0.28          | 136.7                |
| 5232  | 住友大阪セメント | ガラス土石 | 123           | 8.1                | 24.9                           | 0.32          | 41.9                 |
| 6473  | ジェイテクト   | 機械    | 565           | 11.2               | 32.9                           | 0.34          | 41.6                 |
| 4503  | アステラス製薬  | 医薬品   | 3,855         | 16.1               | 38.8                           | 0.42          | 36.3                 |
| 6753  | シャープ     | 電気機器  | 517           | 12.6               | 29.1                           | 0.43          | 15.0                 |
| 5713  | 住友金属鉱山   | 非鉄金属  | 1,930         | 17.9               | 40.6                           | 0.44          | 16.3                 |
| 2914  | 日本たばこ産業  | 食料品   | 11,272        | 18.8               | 36.8                           | 0.51          | 10.1                 |
| 9064  | ヤマトHD    | 陸運    | 810           | 20.5               | 39.3                           | 0.52          | 45.7                 |
| 6976  | 太陽誘電     | 電気機器  | 478           | 22.9               | 42.2                           | 0.54          | 69.5                 |
| 6645  | オムロン     | 電気機器  | 824           | 17.7               | 31.8                           | 0.56          | 21.8                 |
| 3923  | ラクス      | 情報通信  | 376           | 23.9               | 40.3                           | 0.59          | 29.8                 |
| 4005  | 住友化学     | 化学    | 749           | 12.0               | 19.1                           | 0.63          | 16.2                 |
| 4183  | 三井化学     | 化学    | 811           | 11.8               | 18.3                           | 0.64          | 28.7                 |
| 1893  | 五洋建設     | 建設    | 453           | 14.7               | 22.6                           | 0.65          | 5.2                  |
| 5411  | JFEHD    | 鉄鋼    | 1,299         | 9.3                | 14.3                           | 0.65          | 75.0                 |
| 4188  | 三菱ケミカルG  | 化学    | 1,340         | 12.4               | 19.0                           | 0.65          | 70.3                 |
| 7189  | 西日本FHD   | 銀行    | 485           | 9.6                | 13.4                           | 0.72          | 27.0                 |
| 5214  | 日本電気硝子   | ガラス土石 | 557           | 22.1               | 30.3                           | 0.73          | 11.0                 |
| 7259  | アイシン     | 輸送用機器 | 2,280         | 12.9               | 17.7                           | 0.73          | 19.5                 |
| 2503  | 麒麟HD     | 食料品   | 2,160         | 12.8               | 17.5                           | 0.73          | 13.7                 |
| 7181  | かんぽ生命保険  | 保険    | 1,795         | 11.3               | 15.4                           | 0.73          | 8.9                  |
| 9627  | アインHD    | 小売    | 235           | 14.9               | 20.0                           | 0.75          | 15.2                 |
| 4568  | 第一三共     | 医薬品   | 6,687         | 18.3               | 24.2                           | 0.76          | 22.8                 |
| 3401  | 帝人       | 繊維製品  | 266           | 15.6               | 20.3                           | 0.77          | 187.6                |
| 9201  | 日本航空     | 空運    | 1,288         | 9.9                | 12.5                           | 0.79          | 4.9                  |
| 8572  | アコム      | その他金融 | 777           | 11.5               | 14.3                           | 0.80          | 6.3                  |
| 8377  | ほくほくFG   | 銀行    | 584           | 9.8                | 12.3                           | 0.80          | 9.3                  |
| 4502  | 武田薬品工業   | 医薬品   | 7,821         | 25.4               | 30.3                           | 0.84          | 54.7                 |

注：TOPIX500 採用銘柄をユニバースとし、次の通りスクリーニングを行った。(1) PEG レシオが 1 倍未満、(2) 来期経常増益予想。直近赤字企業は除く。PEG レシオは経常利益ベースの 5 期先 CAGR を使用。予想は QUICK コンセンサス、なければ東洋経済予想を使用。5 期先 CAGR のみ QUICK コンセンサス予想。PEG レシオの昇順。データは 1 月 5 日時点  
出所：QUICK、東洋経済、SMBC 日興証券  
注：誌面スペースの都合上、PEG レシオ 0.85 倍以下の銘柄に絞って掲載している。

## 信用売り残は 6 週間ぶりの減少に

1 月 9 日時点の 2 市場信用残高は、買い残高が 68 億円増の 4 兆 8044 億円、売り残高が 2819 億円減の 8624 億円。買い残高が 2 週間ぶりの増加、売り残高は 6 週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は -5.85% から -3.04%、売り方の評価損益率は 8.88% から 11.95% に。なお、信用倍率は 4.19 倍から 5.57 倍となった。

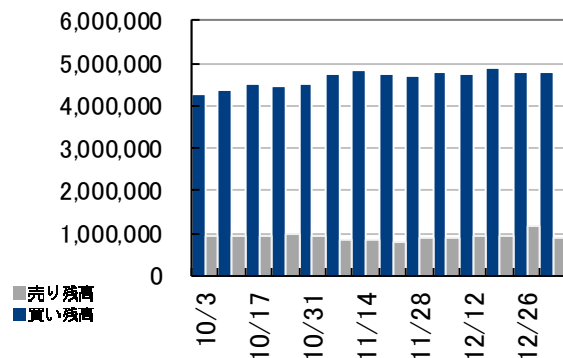
この週（1 月 5 日～9 日）の日経平均は 12 月 26 日終値比 1189.50 円高の 51939.89 円。3 日には米国がベネズエラに対して軍事行動に踏み切り、地政学リスクが高まったが、国内株式市場への影響は限定的にとどまった。また、中国政府が軍民両用品目の対日輸出規制を強化すると発表、レアアースの調達懸念から一時的に投資家心理が悪化する場面もあったが、レアアース関連銘柄が幅広く物色され、全体相場の下支えにつながった。週末は指数寄与度の高いファーストリテイリング<9983>が好決算を発表して大幅高となり、日経平均を牽引した。

個別では、フジ<8278>の信用倍率は 0.03 倍と、前週の 0.40 倍から一段と売り長の需給状況になった。1 月 8 日に 2026 年 2 月期業績予想の修正を発表。政策保有株の売却により純利益を上方修正した一方で、営業利益は下方修正した。9 日は買い先行で始まった後に急落するなど、荒い値動きのなかで新規売りが積み上がる形になったようだ。熊谷組<1861>の信用倍率は 0.96 倍と、前週の 11.00 倍から売り長の需給状況になった。住友林業<1911>株の売却に伴う業績予想の上方修正、自社株買い、株式の売出しを行うと発表。売り出しを受けたヘッジ対応の新規売りが積み上がる形になったようである。そのほか、バンダイナム<7832>の信用倍率は 2.79 倍となり、前週の 14.15 倍から取り組みが改善している。ただ、株価は昨年 8 月高値をピークに調整を続けており、高値期日に向けた需給悪化が警戒されやすいだろう。

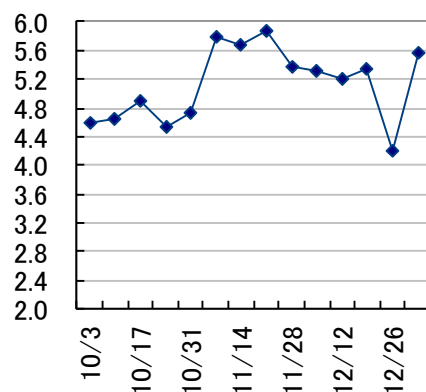
### 取組みが改善した銘柄

| コード  | 市場     | 銘柄     | 1/16終値<br>(円) | 信用買残<br>(1/9:株) | 信用売残<br>(1/9:株) | 信用倍率<br>(1/9:倍) | 信用買残<br>(12/26:株) | 信用売残<br>(12/26:株) | 信用倍率<br>(12/26:倍) |
|------|--------|--------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 8278 | プライム   | フジ     | 2,067.0       | 33,900          | 1,033,100       | 0.03            | 83,200            | 208,400           | 0.40              |
| 1861 | プライム   | 熊谷組    | 1,727.0       | 596,100         | 618,300         | 0.96            | 456,500           | 41,500            | 11.00             |
| 7512 | スタンダード | イオン北海  | 938.0         | 114,200         | 1,644,400       | 0.07            | 186,100           | 298,900           | 0.62              |
| 2871 | プライム   | ニチレイ   | 1,808.0       | 212,100         | 652,500         | 0.33            | 138,400           | 61,200            | 2.26              |
| 8142 | プライム   | トーヨー   | 3,955.0       | 47,400          | 294,500         | 0.16            | 74,600            | 78,600            | 0.95              |
| 7832 | プライム   | バンダイナム | 4,172.0       | 724,700         | 260,000         | 2.79            | 694,600           | 49,100            | 14.15             |
| 8308 | プライム   | りそなHD  | 1,795.5       | 2,088,900       | 651,400         | 3.21            | 5,210,700         | 347,300           | 15.00             |
| 9663 | プライム   | ナガワ    | 6,310.0       | 16,100          | 181,500         | 0.09            | 35,700            | 91,700            | 0.39              |
| 9697 | プライム   | カブコン   | 3,670.0       | 1,275,700       | 463,200         | 2.75            | 1,276,100         | 117,000           | 10.91             |
| 8200 | プライム   | リンガハット | 2,249.0       | 57,700          | 664,000         | 0.09            | 80,100            | 229,200           | 0.35              |
| 4343 | プライム   | ファンタジー | 3,095.0       | 105,800         | 358,000         | 0.30            | 113,000           | 111,200           | 1.02              |
| 6146 | プライム   | ディスコ   | 60,600.0      | 521,700         | 557,100         | 0.94            | 902,000           | 303,900           | 2.97              |
| 7012 | プライム   | 川重     | 13,965.0      | 2,954,800       | 574,600         | 5.14            | 3,911,100         | 278,900           | 14.02             |
| 6273 | プライム   | SMC    | 66,380.0      | 61,900          | 22,500          | 2.75            | 91,900            | 12,400            | 7.41              |
| 3563 | プライム   | F&LC   | 8,419.0       | 303,300         | 355,300         | 0.85            | 480,000           | 238,000           | 2.02              |

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



## コラム:円も茨の道へ

年明け以降、ドル・円相場の底堅さが目立ち、心理的節目の160 円に差し掛かっています。背景にあるのは、日本の財政悪化懸念による円売り。来る総選挙に向け、高市政権への支持拡大なら円売りは続くと思われるものの、予断を許せず円の方角感は乏しいでしょう。

2026 年のドル・円は156 円60 銭で寄り付き、156 円台でもみ合った後に堅調地合いを強めました。高市首相の台湾有事を巡る発言をきっかけに中国との関係が悪化し、昨年末にかけて円売りに振れやすい状況でした。そこへ、高市氏が1 月23 日に召集される通常国会の冒頭に衆院を解散するとの報道が市場を駆け巡ると、高支持率の現政権が積極財政を進めるとの思惑が株高・円安を招いたのです。

ただ、2 月に想定される総選挙は現時点で先読み不能。高市氏自身の人気は高いものの、自民党は宗教団体への政治資金流用の問題をあやふやにしており、政党支持率は低空飛行のまま。内閣支持率と与党第一党の政党支持率の合計が50 を下回ると政権が倒れる、とする「青木の法則」に従えば、「高市氏+不人気の自民党」でも単独過半数に押し戻すのではないかとの思惑が広がります。

そうしたシナリオを描く市場は財政出動をにらんで株買いを進め、円売りを急ぎました。その結果が現在の状況です。米国ではトランプ大統領がパウエル連邦準備制度理事会(FRB)議長の更迭を織り込み、ドル売りに振れやすい展開が今後も進むでしょう。それでも、日中関係の悪化と高市政権の支持拡大への思惑から、円売り地合いは変わらず。円安牽制を受けても、ドル・円は160 円を目指す展開です。

ですが、総選挙の先行事例になりそうな直近の選挙をみると、円売りには二の足を踏むかもしれません。歴代の首相を多く生み出した群馬県の前橋市長選で、既婚男性とホテルで密会が報じられた現職の女性候補が大勝。一方、立憲民主党と公明党の合流により、自民党は都市部で苦戦を強いられる見通しです。地方でも政治資金絡みの汚点を払拭できず、高市政権は選挙を境に失速もあり得ます。

円の値動きとは高市氏の政治生命はまさに一蓮托生。円は高市政権への期待を映す鏡である一方、政権基盤の揺らぎが意識されれば円売りも急速に後退しかねません。総選挙を前に、市場は楽観だけでポジションを積み上げにくくなっており、円は方向感を失いやすい局面に入っています。円にとっては、上にも下にも容易に進めない「茨の道」が想定されます。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。



|   |            |              |     |
|---|------------|--------------|-----|
| 1 | スケジュール     | 経済カレンダー      | 2-4 |
|   |            | 決算カレンダー      | 5   |
| 2 | レーティング     | 格上げ・買い推奨     | 6   |
|   |            | 格下げ・売り推奨     | 7   |
| 3 | 投資主体別売買動向  | 総括コメント       | 8   |
|   |            | 市場別データ       | 9   |
| 4 | 新規上場銘柄     | 結果とスケジュール    | 10  |
| 5 | 一目均衡表雲抜け銘柄 | 雲上抜け銘柄（プライム） | 11  |
|   |            | 雲下抜け銘柄（プライム） | 12  |

1 月 19 日～1 月 23 日※全て日本時間で表示

| 日付    | 曜日 | 時間    | 内容   |
|-------|----|-------|--|
| 1月19日 | 月  | 08:50 | コア機械受注(11月)                                  |
|       |    | 10:30 | 中・新築住宅価格(12月)                                |
|       |    | 10:30 | 中・中古住宅価格(12月)                                |
|       |    | 11:00 | 中・GDP(10-12月)                                |
|       |    | 11:00 | 中・小売売上高(12月)                                 |
|       |    | 11:00 | 中・鉱工業生産指数(12月)                               |
|       |    | 11:00 | 中・固定資産投資(都市部)(12月)                           |
|       |    | 11:00 | 中・調査失業率(12月)                                 |
|       |    | 11:00 | 中・不動産投資(12月)                                 |
|       |    | 11:00 | 中・住宅販売(12月)                                  |
|       |    | 13:30 | 鉱工業生産(11月)                                   |
|       |    | 13:30 | 設備稼働率(11月)                                   |
|       |    | 13:30 | 第3次産業活動指数(11月)                               |
|       |    | 17:00 | ブ・FIPE消費者物価指数(先週)                            |
|       |    | 19:00 | 欧・ユーロ圏CPI(12月)                               |
|       |    | 20:25 | ブ・週次景気動向調査                                   |
|       |    | 22:30 | 加・消費者物価指数(12月)                               |
|       |    | 27:00 | ブ・貿易収支(先週)                                   |
|       |    |       | 高市首相が記者会見(衆院解散を表明予定)                         |
|       |    |       | スイス・世界経済フォーラム(WEF)年次総会(ダボス会議、23日まで)          |
|       |    |       | 国際通貨基金(IMF)が世界経済見通し(WEO)公表                   |
|       |    |       | 欧・ユーロ圏財務相会合                                  |
|       |    |       | 米・株式市場は祝日のため休場(キング牧師生誕記念日)                   |
| 1月20日 | 火  | 10:00 | 中・1年物ローンプライムレート(LPR)                         |
|       |    | 10:00 | 中・5年物ローンプライムレート(LPR)                         |
|       |    | 16:00 | 英・ILO失業率(9-11月)                              |
|       |    | 16:00 | 英・失業率(12月)                                   |
|       |    | 18:00 | 欧・ユーロ圏経常収支(11月)                              |
|       |    | 19:00 | 独・ZEW期待指数(1月)                                |
|       |    | 20:30 | 印・インフラ産業8業種生産高(12月)                          |
|       |    |       | 欧・欧州連合(EU)財務相理事会                             |
| 1月21日 | 水  | 10:10 | 国債買い入れオペ(残存1-3年、残存3-5年、残存5-10年、残存25年超)(日本銀行) |
|       |    | 14:30 | 日証協会長が会見                                     |
|       |    | 16:00 | 英・消費者物価指数(12月)                               |
|       |    | 16:15 | 訪日外客数(12月)                                   |
|       |    | 17:00 | 南ア・消費者物価指数(12月)                              |
|       |    | 24:00 | 米・中古住宅販売成約指数(12月)                            |
|       |    | 24:00 | 米・景気先行指数(12月)                                |
|       |    | 24:00 | 米・建設支出(10月)                                  |
|       |    |       | 自動車技術展「オートモティブワールド」開幕(23日まで)                 |
|       |    |       | ロボット展示会「ロボデックス」開幕(23日まで)                     |
|       |    |       | ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁がダボス会議でパネル討論会に参加            |

1 月 19 日～1 月 23 日※全て日本時間で表示

| 日付    | 曜日 | 時間    | 内容                                      |
|-------|----|-------|---|
| 1月22日 | 木  | 08:00 | 韓・GDP(10-12月)                           |
|       |    | 08:50 | 貿易収支(12月)                               |
|       |    | 08:50 | 輸出(12月)                                 |
|       |    | 08:50 | 輸入(12月)                                 |
|       |    | 08:50 | 対外・対内証券投資(先週)                           |
|       |    | 09:30 | 豪・失業率(12月)                              |
|       |    | 20:00 | トルコ・中央銀行が政策金利発表                         |
|       |    | 22:30 | 米・新規失業保険申請件数(先週)                        |
|       |    | 22:30 | 米・個人所得(11月)                             |
|       |    | 22:30 | 米・個人消費支出(11月)                           |
|       |    | 22:30 | 米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(11月)                |
|       |    | 22:30 | 米・GDP改定値(7-9月)                          |
|       |    | 24:00 | 欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(1月)                      |
|       |    |       | 日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)                   |
|       |    |       | 欧・ECB議事要旨(12月会合)                        |
| 1月23日 | 金  | 06:45 | NZ・消費者物価指数(10-12月)                      |
|       |    | 08:30 | 消費者物価コア指数(12月)                          |
|       |    | 09:30 | 製造業PMI(1月)                              |
|       |    | 09:30 | サービス業PMI(1月)                            |
|       |    | 09:30 | 総合PMI(1月)                               |
|       |    | 14:00 | 印・製造業PMI速報(1月)                          |
|       |    | 14:00 | 印・サービス業PMI速報(1月)                        |
|       |    | 14:00 | 印・総合PMI速報(1月)                           |
|       |    | 14:30 | 全国百貨店売上高(12月)                           |
|       |    | 14:30 | 東京地区百貨店売上高(12月)                         |
|       |    | 15:30 | 植田日銀総裁が会見                               |
|       |    | 16:00 | 英・小売売上高(12月)                            |
|       |    | 17:30 | 独・製造業PMI(1月)                            |
|       |    | 17:30 | 独・サービス業PMI(1月)                          |
|       |    | 17:30 | 独・総合PMI(1月)                             |
|       |    | 18:00 | 欧・ユーロ圏製造業PMI(1月)                        |
|       |    | 18:00 | 欧・ユーロ圏サービス業PMI(1月)                      |
|       |    | 18:00 | 欧・ユーロ圏総合PMI(1月)                         |
|       |    | 18:30 | 英・製造業PMI(1月)                            |
|       |    | 18:30 | 英・サービス業PMI(1月)                          |
|       |    | 18:30 | 英・総合PMI(1月)                             |
|       |    | 20:00 | ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(先週)                 |
|       |    | 22:30 | 加・小売売上高(11月)                            |
|       |    | 23:45 | 米・製造業PMI速報値(1月)                         |
|       |    | 23:45 | 米・サービス業PMI速報値(1月)                       |
|       |    | 23:45 | 米・総合PMI速報値(1月)                          |
|       |    | 24:00 | 米・ミシガン大学消費者マインド指数(1月)                   |
|       |    |       | 日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表         |
|       |    |       | 通常国会召集                                  |
|       |    |       | 印・外貨準備高(先週)                             |
|       |    |       | ラガルドECB総裁とゲオルギエフIMF専務理事がダボス会議でパネル討論会に参加 |

#### ■(中)10-12 月期国内総生産(GDP)

1 月 19 日(月)午前 11 時発表予定

(予想は、前年同期比+4.5%) 参考となる前期実績は前年同期比+4.8%。不動産不況などで内需が弱含みとなっており、成長率は鈍化した。この状況は10-12 月期も変わっていないとみられ、成長率は7-9 月期の実績を下回る可能性が高い。

#### ■(米)7-9 月期国内総生産(GDP)改定値

1 月 22 日(木)午後 10 時 30 分発表予定

(予想は、前期比年率+4.3%) 参考となる速報値は前期比年率+4.3%。個人消費の伸びや防衛費の大幅な増加が成長率を高める要因となった。改定値については下方修正される項目は少ないとみられており、速報値と同水準となる可能性がある。

#### ■(米)11 月コア PCE 価格指数

1 月 22 日(木)午後 10 時 30 分発表予定

(予想は、前年比+2.8%) インフレ緩和のペースは鈍化しており、サービス価格の高止まりが続いているため、2%台後半の上昇率がしばらく続くと思われる。インフレ持続によって個人消費支出は引き続き抑制される可能性が高いと思われる。

#### ■(日)日本銀行金融政策決定会合

1 月 23 日(金)決定会合の終了予定時刻は未定

(予想は、政策金利の現状維持) 為替相場の円安進行によってインフレ緩和の思惑は後退しているが、12 月に行った追加利上げの効果を測定する必要があるため、今回の会合では政策金利の現状維持が決定される見込み。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

| 日付    | コード  | 銘柄            | 上場部名   | 時刻 |
|-------|------|---------------|--------|----|
| 1月19日 | 5341 | ASAHI EITOHD  | スタンダード |    |
|       | 9250 | GRCS          | グロース   |    |
| 1月20日 | 3091 | ブロンコビリー       | プライム   |    |
| 1月21日 | 296A | 令和アカウンティング・HD | グロース   |    |
|       | 5990 | スーパーツール       | スタンダード |    |
|       | 6146 | ディスコ          | プライム   |    |
| 1月22日 | 8617 | 光世証券          | スタンダード |    |
| 1月23日 | 2411 | ゲンダイエージェンシー   | スタンダード |    |
|       | 2804 | ブルドックソース      | プライム   |    |
|       | 5423 | 東京製鐵          | プライム   |    |
|       | 5576 | オービーシステム      | スタンダード |    |
|       | 5609 | 日本鑄造          | スタンダード |    |
|       | 6629 | テクノホライゾン      | スタンダード |    |
|       | 6866 | 日置電機          | プライム   |    |
|       | 9029 | ヒガシホールディングス   | スタンダード |    |
|       | 9701 | 東京會館          | スタンダード |    |



## 格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

| 日付    | 証券会社   | コード  | 社名       | レーティング                    | 目標株価(円)       |
|-------|--------|------|----------|---------------------------|---------------|
| 1月13日 | UBS    | 7943 | ニチハ      | NEUTRAL→BUY格上げ            | 3000→4200     |
|       | ゴールドマン | 4004 | レゾナックHD  | 買い新規                      | 8050          |
|       |        | 5706 | 三井金      | 買い新規                      | 24000         |
|       | 大和     | 8060 | キャノンMJ   | 2新規                       | 7400          |
| 1月14日 | SMBC日興 | 8955 | 日本ブラR    | 2→1格上げ                    | 112000→123000 |
|       |        | 8956 | NTT都市開発R | 2→1格上げ                    | 143000→162000 |
|       | シティ    | 3110 | 日東紡      | 1新規                       | 14500         |
|       |        | 5016 | JX金属     | 1新規                       | 2500          |
|       | みずほ    | 1911 | 住友林      | 中立→買い格上げ                  | 1760→1900     |
|       |        | 3167 | TOKAI    | 中立→買い格上げ                  | 1000→1300     |
|       | モルガン   | 4502 | 武田薬      | OVERWEIGHT新規              | 6200          |
| 1月16日 | JPモルガン | 8053 | 住友商      | NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ     | 4680→7000     |
|       | モルガン   | 3287 | 星野RR     | EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ | 287000→315000 |
|       | 東海東京   | 3186 | ネクステージ   | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ     | 1910→4100     |

## 格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

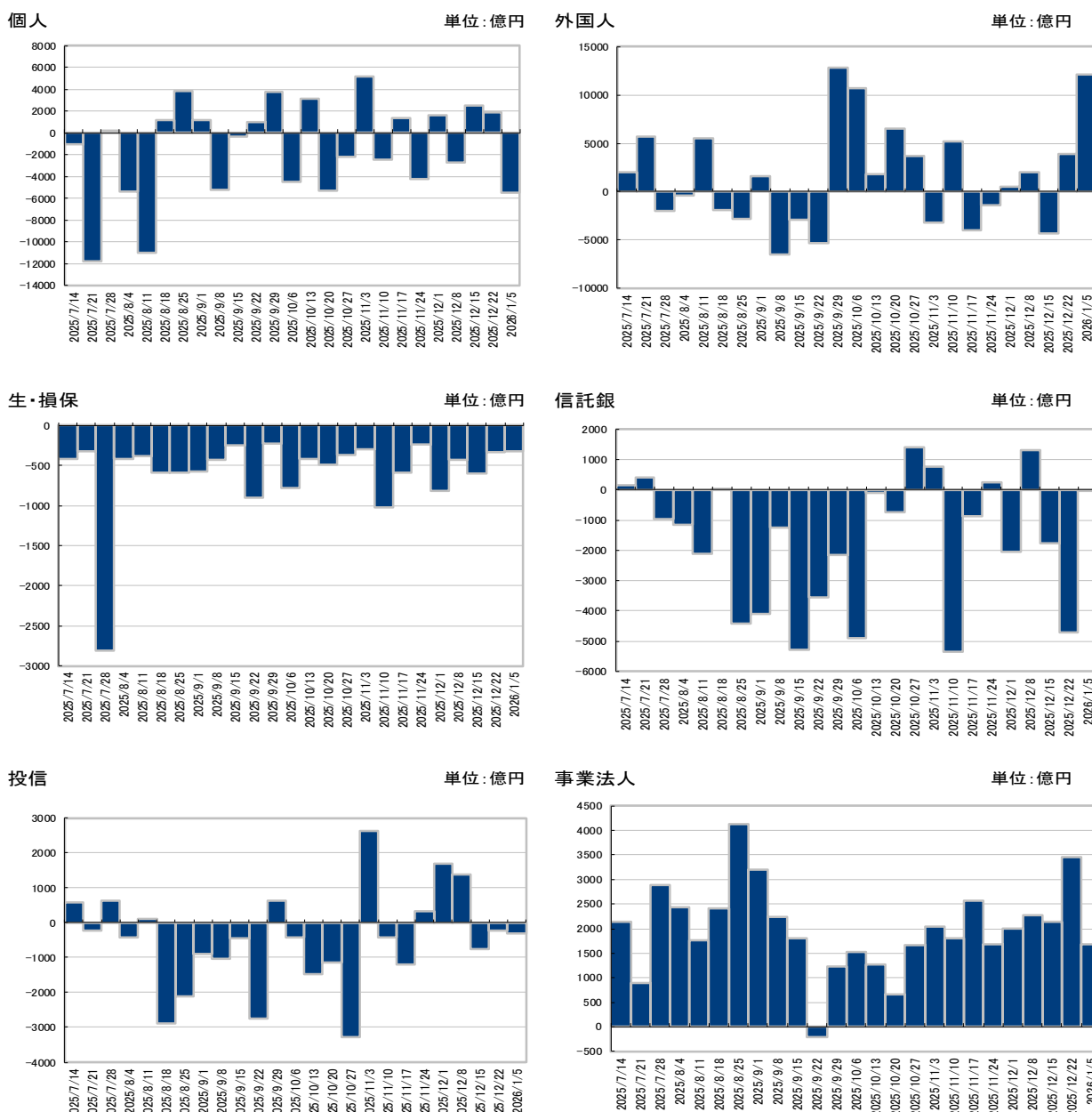
| 日付    | 証券会社   | コード  | 社名      | レーティング                    | 目標株価（円）       |
|-------|--------|------|---------|---------------------------|---------------|
| 1月14日 | SMBC日興 | 3281 | GLP     | 1→2格下げ                    | 158000→155000 |
|       |        | 8984 | 大和ハウスR  | 1→2格下げ                    | 147500→152000 |
|       | UBS    | 9020 | JR東     | BUY→NEUTRAL格下げ            | 3900→4200     |
|       |        | 4565 | ネクセラ    | 2→3格下げ                    | 1300→940      |
| 1月15日 | SMBC日興 | 2201 | 森永菓     | 1→2格下げ                    | 3300→2800     |
|       | ゴールドマン | 6103 | オークマ    | 中立→売り格下げ                  | 3600→3200     |
|       |        | 6465 | ホシザキ    | 買い→中立格下げ                  | 8000→6000     |
|       |        | 6586 | マキタ     | 中立→売り格下げ                  | 4800→4200     |
|       |        | 5401 | 日本製鉄    | 2→3格下げ                    | 720→690       |
|       | SMBC日興 | 4755 | 楽天グループ  | 1→2格下げ                    | 1100→1050     |
| 1月16日 | シティ    | 4503 | アステラス薬  | 1→2格下げ                    | 2400→2500     |
|       | モルガン   | 8972 | ケネディオフィ | OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ | 194000        |
|       |        | 8985 | JHR     | OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ | 100000→89000  |
|       | 東海東京   | 6995 | 東海理電    | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ     | 2900→3330     |

## 1 月第 1 週: 外国人投資家は総合で 7898 億円と買い越しを継続

1 月第 1 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で 7898 億円と買い越しを継続。現物も買い越しを継続し、TOPIX 先物は売り越しに転じ、225 先物は売り越しを継続した。個人投資家は総合で 6155 億円の売り越しに転じた。

そのほか、投信は 1810 億円の売り越しを継続し、都地銀は 371 億円と売り越しに転じた。生・損保は 194 億円と売り越しを継続、事法は 1694 億円と買い越しを継続し、信託は 425 億円と売り越しを継続した。

なお、自己は現物で売り越しを継続し、TOPIX 先物では買い越しを継続、225 先物でも買い越しを継続した。総合は 26 億円と買い越しに転じた。1 月 9 日時点の裁定残高は、ネットベースで 2 兆 4161 億 6100 万円の買い越しで、前週（2 兆 5636 億 1100 万円の買い越し）から小幅に減少した。一方、株数ベースでは、9 億 7373 万 3 千株の買い越しで、30 日（10 億 5489 万 9 千株の買い越し）から減少している。週間の騰落率は日経平均で 2.34% の上昇だった。



単位:億円

| 現物 | 日付       | 自己      | 個人     | 外国人    | 投信     | 事業法人  | 生・損保   | 都地銀  | 信託銀    |
|----|----------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|------|--------|
|    | 25/09/22 | 11,199  | 1,041  | ▲5,313 | ▲2,758 | ▲211  | ▲897   | 1    | ▲3,565 |
|    | 25/09/29 | ▲16,313 | 3,782  | 12,786 | 621    | 1,228 | ▲226   | ▲364 | ▲2,152 |
|    | 25/10/06 | ▲692    | ▲4,467 | 10,716 | ▲422   | 1,528 | ▲780   | ▲603 | ▲4,901 |
|    | 25/10/13 | ▲3,561  | 3,158  | 1,833  | ▲1,482 | 1,271 | ▲418   | ▲723 | ▲108   |
|    | 25/10/20 | 704     | ▲5,307 | 6,502  | ▲1,136 | 655   | ▲491   | ▲84  | ▲727   |
|    | 25/10/27 | ▲807    | ▲2,239 | 3,717  | ▲3,288 | 1,657 | ▲374   | ▲183 | 1,415  |
|    | 25/11/03 | ▲7,457  | 5,195  | ▲3,214 | 2,638  | 2,033 | ▲301   | ▲196 | 762    |
|    | 25/11/10 | 3,067   | ▲2,456 | 5,219  | ▲418   | 1,808 | ▲1,024 | ▲862 | ▲5,337 |
|    | 25/11/17 | 3,192   | 1,315  | ▲4,032 | ▲1,197 | 2,582 | ▲593   | ▲357 | ▲855   |
|    | 25/11/24 | 3,661   | ▲4,270 | ▲1,388 | 338    | 1,686 | ▲239   | ▲209 | 251    |
|    | 25/12/01 | ▲3,434  | 1,635  | 489    | 1,686  | 2,009 | ▲824   | ▲630 | ▲2,040 |
|    | 25/12/08 | ▲4,777  | ▲2,689 | 2,021  | 1,376  | 2,286 | ▲426   | 84   | 1,298  |
|    | 25/12/15 | 2,505   | 2,520  | ▲4,322 | ▲750   | 2,140 | ▲595   | ▲301 | ▲1,775 |
|    | 25/12/22 | ▲3,627  | 1,890  | 3,932  | ▲237   | 3,467 | ▲331   | ▲175 | ▲4,715 |
|    | 26/01/05 | ▲6,878  | ▲5,515 | 12,128 | ▲303   | 1,689 | ▲323   | ▲300 | ▲44    |

単位:億円

| T O P I X<br>先物 | 日付       | 自己     | 個人   | 外国人     | 投信     | 事業法人 | 生・損保 | 都地銀  | 信託銀    |
|-----------------|----------|--------|------|---------|--------|------|------|------|--------|
|                 | 25/09/22 | ▲600   | 80   | ▲4,600  | 1,329  | ▲10  | ▲66  | ▲7   | 3,759  |
|                 | 25/09/29 | 1,500  | 30   | ▲10,000 | 527    | ▲36  | 138  | ▲322 | 8,730  |
|                 | 25/10/06 | 800    | ▲40  | ▲1,000  | ▲112   | 12   | 93   | 129  | ▲210   |
|                 | 25/10/13 | 1,460  | ▲169 | 0       | ▲22    | 23   | ▲240 | ▲719 | ▲147   |
|                 | 25/10/20 | 38     | ▲51  | ▲312    | 203    | 3    | 166  | 444  | ▲468   |
|                 | 25/10/27 | 2,070  | 320  | ▲3,300  | ▲398   | ▲11  | ▲113 | 925  | 670    |
|                 | 25/11/03 | 4,760  | ▲306 | ▲3,000  | ▲186   | ▲15  | ▲78  | ▲644 | ▲485   |
|                 | 25/11/10 | ▲3,270 | ▲48  | ▲700    | 147    | 19   | 31   | 538  | 3,189  |
|                 | 25/11/17 | ▲6,912 | ▲67  | 10,679  | 82     | ▲11  | ▲7   | ▲795 | ▲2,774 |
|                 | 25/11/24 | ▲2,544 | 38   | 2,694   | 135    | ▲16  | 103  | 186  | ▲638   |
|                 | 25/12/01 | 3,132  | 168  | 994     | 124    | 5    | ▲60  | 138  | ▲4,447 |
|                 | 25/12/08 | 654    | ▲60  | 3,162   | ▲618   | 4    | 18   | ▲66  | ▲3,087 |
|                 | 25/12/15 | ▲1,519 | ▲26  | 1,939   | 31     | 17   | 8    | 196  | ▲368   |
|                 | 25/12/22 | 931    | ▲28  | 2,922   | ▲605   | ▲10  | 43   | 58   | ▲3,306 |
|                 | 26/01/05 | 4,749  | ▲146 | ▲3,227  | ▲1,365 | 55   | 133  | ▲109 | ▲87    |

単位:億円

| 日<br>経<br>平<br>均<br>先<br>物 | 日付       | 自己     | 個人   | 外国人    | 投信   | 事業法人 | 生・損保 | 都地銀   | 信託銀    |
|----------------------------|----------|--------|------|--------|------|------|------|-------|--------|
|                            | 25/09/22 | 1,410  | 120  | ▲2,300 | 140  | ▲32  | 175  | ▲315  | 629    |
|                            | 25/09/29 | ▲100   | 240  | ▲2,900 | 478  | 93   | 50   | ▲563  | 2,920  |
|                            | 25/10/06 | ▲600   | ▲100 | 0      | ▲330 | ▲0   | ▲356 | 1,340 | ▲380   |
|                            | 25/10/13 | 1,810  | ▲200 | ▲3,200 | 235  | 57   | ▲101 | ▲859  | 2,430  |
|                            | 25/10/20 | ▲1,657 | 172  | 297    | 267  | ▲18  | 278  | 542   | 182    |
|                            | 25/10/27 | 70     | 700  | ▲2,000 | 224  | ▲99  | 199  | 930   | 570    |
|                            | 25/11/03 | ▲1,900 | 0    | 3,000  | ▲270 | ▲175 | 602  | ▲560  | ▲280   |
|                            | 25/11/10 | 290    | ▲460 | 100    | 210  | 19   | 53   | ▲180  | ▲340   |
|                            | 25/11/17 | ▲1,739 | 91   | 654    | 195  | 318  | ▲253 | ▲366  | 1,092  |
|                            | 25/11/24 | ▲714   | 189  | ▲561   | ▲7   | ▲3   | ▲20  | 534   | 797    |
|                            | 25/12/01 | ▲742   | ▲44  | 2,411  | 245  | ▲22  | ▲428 | 314   | ▲1,521 |
|                            | 25/12/08 | ▲896   | ▲190 | 124    | 694  | ▲3   | ▲132 | 557   | 8      |
|                            | 25/12/15 | ▲531   | 345  | ▲1,468 | 680  | 15   | 10   | ▲309  | 991    |
|                            | 25/12/22 | 457    | ▲181 | ▲746   | 41   | ▲2   | 26   | 163   | 177    |
|                            | 26/01/05 | 2,155  | ▲494 | ▲1,003 | ▲142 | ▲50  | ▲4   | 38    | ▲294   |

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。  
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

| 銘柄名   | コード  | 市場     | 上場日  | 仮条件<br>(円) | 公募株数<br>(株) | 売出株数<br>(株) | 公募価格<br>(円) | 初値<br>(円) | 主幹事    | 1/16終値<br>(円) |
|---|------|--------|------|------------|-------------|-------------|-------------|-----------|--------|---------------|
| TOボックス  | 500A | スタンダード | 2/13 | -          | 486,700     | 421,800     | -           | -         | SMBC日興 | -             |
| 事業内容: ライトノベル及びコミックを中心とした企画・編集及びアニメ、舞台、グッズ展開を担うコンテンツプロデュース事業 |      |        |      |            |             |             |             |           |        |               |



## 雲上抜け銘柄(プライム)

| コード  | 銘柄       | 終値<br>(円) | 先行スパンA<br>(円) | 先行スパンB<br>(円) | コード  | 銘柄      | 終値<br>(円) | 先行スパンA<br>(円) | 先行スパンB<br>(円) |
|------|----------|-----------|---------------|---------------|------|---------|-----------|---------------|---------------|
| 1773 | YTL      | 85        | 70            | 82.5          | 2760 | 東エレデバ   | 3545      | 2764.5        | 3228          |
| 3099 | 三越伊勢丹    | 2635      | 2191.25       | 2465.5        | 3183 | ウインP    | 1387      | 1350.25       | 1303.5        |
| 3679 | じげん      | 490       | 442.5         | 488.5         | 4063 | 信越化     | 5690      | 4523.75       | 5149.5        |
| 4189 | KHネオケム   | 2550      | 2504.5        | 2281          | 4369 | トリケミカル  | 3335      | 3024.75       | 3077.5        |
| 4392 | FIG      | 321       | 270.25        | 299.5         | 4538 | 扶桑薬     | 2397      | 2253.5        | 2394          |
| 4763 | C&R社     | 1549      | 1545.5        | 1509          | 4765 | SBIGAM  | 653       | 641.5         | 631           |
| 5269 | 日コンクリ    | 350       | 314.25        | 336           | 5310 | 東洋炭素    | 5600      | 4312.5        | 4810          |
| 5410 | 合同鉄      | 4220      | 3760          | 4125          | 5932 | 三協立山    | 681       | 612.5         | 651           |
| 6005 | 三浦工      | 3280      | 3041          | 3249.5        | 6055 | Jマテリアル  | 1588      | 1407.5        | 1538.5        |
| 6266 | タツモ      | 2646      | 2011          | 2526          | 6273 | SMC     | 66380     | 52210         | 59040         |
| 6419 | マースGHD   | 3290      | 2978.25       | 3280.5        | 6526 | ソシオネクスト | 2336      | 2257.25       | 2322          |
| 6564 | ミダックHD   | 2060      | 2033          | 1789.5        | 6616 | トレックスセミ | 1596      | 1304          | 1443          |
| 6740 | JDI      | 23        | 17.75         | 21.5          | 6806 | ヒロセ電    | 17820     | 17442.5       | 17440         |
| 6861 | キーエンス    | 61860     | 59055         | 60960         | 6905 | コーセル    | 1210      | 1076          | 1101.5        |
| 6951 | 日電子      | 5885      | 4555.5        | 5297          | 6965 | 浜松ホトニク  | 1789      | 1601.25       | 1721          |
| 6976 | 太陽誘電     | 3630      | 2400.75       | 3340          | 7157 | ライフネット  | 2153      | 2032.5        | 1810.5        |
| 7201 | 日産自      | 427       | 363.25        | 426.5         | 7238 | 曙ブレーキ   | 128       | 105.25        | 122           |
| 7272 | ヤマハ発     | 1268      | 1128.75       | 1249.5        | 7294 | ヨロズ     | 1066      | 949           | 1055          |
| 7366 | LITALICO | 1298      | 1205.5        | 1295          | 7414 | 小野建     | 1490      | 1410.25       | 1440          |
| 7453 | 良品計画     | 3170      | 2904.5        | 2380          | 7508 | GセブンHD  | 1465      | 1338.5        | 1453.5        |
| 7730 | マニー      | 1625      | 1258          | 1597.5        | 7734 | 理計器     | 3345      | 2840          | 3330          |
| 7745 | A&Dホロン   | 2304      | 1870.75       | 2163          | 7752 | リコー     | 1482      | 1449.25       | 1468          |
| 7943 | ニチハ      | 3495      | 2986.75       | 3265.5        | 7976 | 三菱鉛筆    | 2309      | 2218.5        | 2262          |
| 8088 | 岩谷産      | 1909      | 1482.5        | 1830          | 8278 | フジ      | 2067      | 2063.75       | 2048          |
| 8876 | リログループ   | 1795      | 1767.75       | 1733          | 9042 | 阪急阪神    | 4131      | 3903.25       | 4100.5        |
| 9216 | ビーウィズ    | 1741      | 1571.75       | 1674.5        | 9706 | 日空ビル    | 4812      | 4396.25       | 4639.5        |
| 9757 | 船井総研     | 1190      | 1162.5        | 1060.5        |      |         |           |               |               |

## 雲下抜け銘柄(プライム)

| コード  | 銘柄       | 終値<br>(円) | 先行スパンA<br>(円) | 先行スパンB<br>(円) | コード  | 銘柄     | 終値<br>(円) | 先行スパンA<br>(円) | 先行スパンB<br>(円) |
|------|----------|-----------|---------------|---------------|------|--------|-----------|---------------|---------------|
| 2379 | ディップ     | 2147      | 2249.25       | 2511.5        | 3088 | マツキヨココ | 2482      | 2842          | 2623.5        |
| 3635 | コーエーテクモ  | 1858      | 2215.25       | 1901.5        | 3774 | IIJ    | 2642      | 2749.5        | 2673          |
| 3994 | マネーフォワード | 4748      | 5020.5        | 4870          | 4565 | ネクセラ   | 809       | 871.75        | 1211          |
| 4612 | 日ペHD     | 1044      | 1146          | 1058          | 4776 | CYBOZU | 2602      | 3364.5        | 2684          |
| 4958 | 長谷川香     | 2883      | 2904.75       | 2987.5        | 6465 | ホシザキ   | 5158      | 5430.25       | 5292.5        |
| 7679 | 薬王堂HD    | 2072      | 2073.75       | 2204          | 8136 | サンリオ   | 4805      | 6449.25       | 4968.5        |
| 8167 | リテールP    | 1287      | 1352.5        | 1431          | 9104 | 商船三井   | 4718      | 4975.25       | 4845.5        |
| 9989 | サンドラッグ   | 4116      | 4484.5        | 4161          |      |        |           |               |               |

## 株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

### 【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。  
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

### 【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社  
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号  
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

|                  |                             |                   |                    |                             |                   |
|------------------|-----------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------|-------------------|
| 本店営業部            | 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8     | Tel: 082-245-5000 | 三 次 支 店            | 〒728-0012 三次市十日市中2-13-26    | Tel: 0824-62-3121 |
| 福 山 支 店          | 〒720-0812 福山市霞町1-1-1        | Tel: 084-922-1321 | 可 部 支 店            | 〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21  | Tel: 082-815-2600 |
| 岡山営業所            | 〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3       | Tel: 086-222-1561 | 広島西支店              | 〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4   | Tel: 082-277-2700 |
| 府 中 支 店          | 〒726-0004 府中市府川町335-1       | Tel: 0847-45-8500 | 東広島支店              | 〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7      | Tel: 082-422-3621 |
| 尾 道 支 店          | 〒722-0035 尾道市土堂2-7-11       | Tel: 0848-23-8121 | 廿日市支店              | 〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34      | Tel: 0829-31-6611 |
| 尾 道 支 店<br>今治営業所 | 〒794-0022 今治市室屋町1-1-13      | Tel: 0898-55-8280 | 岩 国 支 店            | 〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7      | Tel: 0827-22-3161 |
| 尾 道 支 店<br>因島営業所 | 〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3 | Tel: 0845-22-2291 | 徳 山 支 店            | 〒745-0034 周南市御幸通2-15        | Tel: 0834-31-5350 |
| 三 原 支 店          | 〒723-0014 三原市城町1-25-1       | Tel: 0848-67-6681 | 徳 山 支 店<br>萩 営 業 所 | 〒758-0027 萩市吉田町51-11        | Tel: 0838-25-2121 |
| 呉 支 店            | 〒737-0045 呉市本通3-5-4         | Tel: 0823-21-6401 | 宇 部 支 店            | 〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル | Tel: 0836-31-1105 |

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>